

令和6年版

消 防 年 報



令和7年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び令和6年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

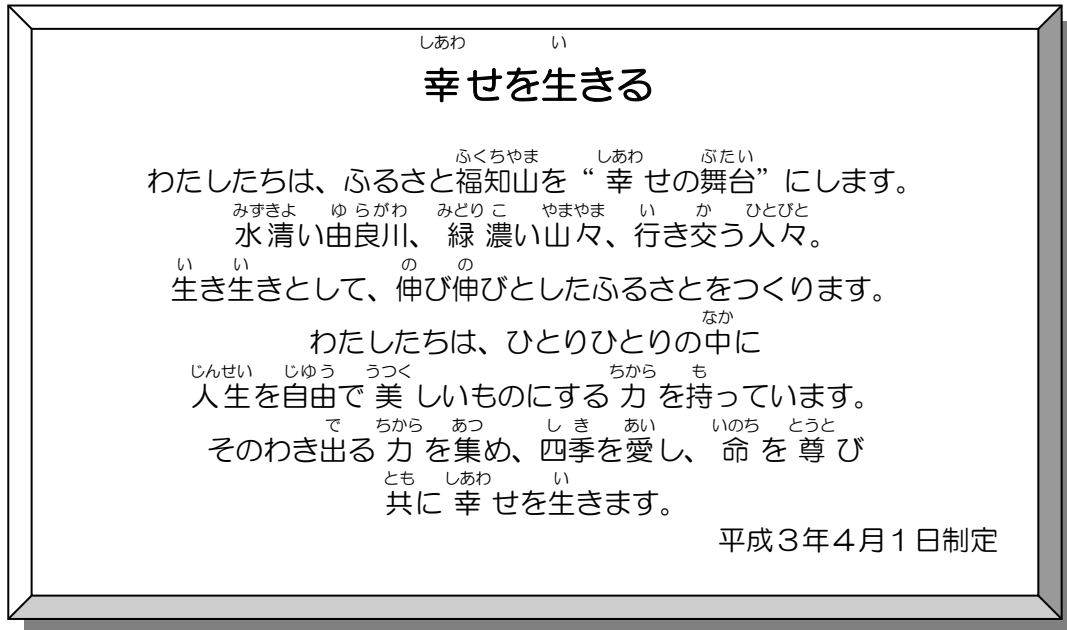
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

令和7年7月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市 民 憲 章 と は

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲 章 文 の 解 説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒にあって広げましょう。一人ひとりが家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市 勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	13
消防職員の定員及び現在員数	14
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	15
事務分掌	16
消防相互応援協定の締結状況	18

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	19
消防水利の状況	20
救助活動のための機械器具等の保有状況	21

統 計

火災概要	23
累年火災比較（10年間）	24
署・分署別火災発生状況	25
地区別火災発生状況 1	26
地区別火災発生状況 2	27
月別火災発生状況	28
火災種別件数	29
曜日・時間別火災発生状況	30
曜日・時間別火災発生状況グラフ	31
気象別火災発生状況	32
火災原因別調べ	33
救急概要	34
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	35
月別救急活動状況	36
時間別事故種別搬送人員	37
年齢区分別事故種別搬送人員	38
傷病程度別性別事故種別搬送人員	39
傷病程度別年齢区分搬送人員	39

過去１０年間における救急出動の推移	40
救急講習実施状況	41
救助概要	42

予 防

防火対象物の状況	43
建築同意事務 署・分署別件数	44
建築同意事務業態別棟別件数	44
消防用設備等検査状況	45
危険物施設の状況	46
危険物申請の状況	47
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	47
手数料徴収状況	47
火災予防条例等各種届出件数	48
立入検査実施状況	48
防火指導状況	49
広報活動状況	49
幼年消防クラブ活動状況	49
福知山市防災センター来館者状況	49

通 信

覚知別集計	50
月別指令状況	51
ドクターヘリ要請件数	51

消 防 団

消防団の沿革	52
消防団員・消防車両配置表	57
年齢別消防団員数	57
在職年数別消防団員数	57

水 防

水防の概要	58
水防組織	61

【総務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 km²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群（古墳時代）から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、ＪＲ線や北近畿タンゴ鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まりました。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた

自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってきました。

平成 18 年 1 月 1 日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」がスタートし、恵まれた自然環境を生かしながら「未来創造福知山」多様性のあふれる高次機能都市の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。

また、防災面では、『消防機能』の他『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成 24 年 5 月 1 日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、近年多発する大規模災害に対し、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	552.54	74,009	36,798
消防職員一人あたりの割合 (職員数 140 人)	3.95	528.6	262.8

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135° 07′	35° 17′

市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ カシ ヒノキ ウメ	サツキ キキョウ ハギ レンゲツツジ フジ	ウグイス キジ	ドッコちゃん  酒呑童子 

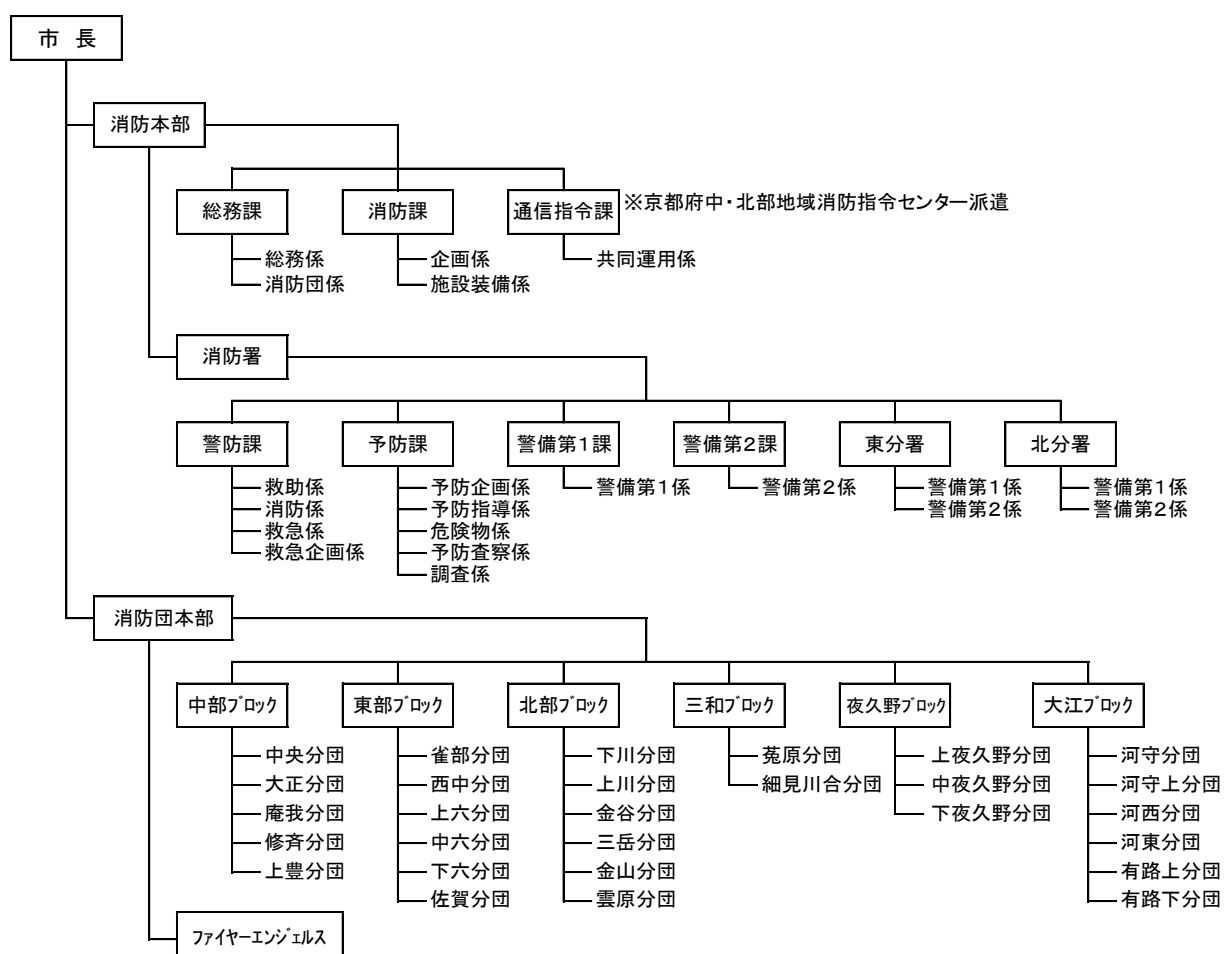
福知山市位置・管内案内図

面 積	552.54 k m ²
周 囲	174.20 k m
海 抜	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	74,009 人
世帯数	36,798 世帯

(令和7年4月1日現在)



消 防 機 構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1 福知山市 消防防災センター	庁舎棟 鉄骨造 2 階建 延 3, 109 m ²	25, 149 m ²	H24. 3	消防防災 訓練場
福知山消防署					防災 ヘリポート
京都府中・北部地域 消防指令センター		訓練棟他 付属建物 延 1, 047 m ²			防災広場
防災センター					
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 772. 82 m ²	25, 235 m ²	S56. 9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 473. 52 m ²	1, 710 m ²	S56. 9	訓練場
福知山市 水防センター	福知山市字戸田 271	鉄骨造平屋建 延 231. 5 m ²	772. 34 m ²	R3. 3	由良川防災ス テーション内

消防の沿革

(令和 7 年 4 月 1 日)

○昭和 23 年 1 月 6 日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける ポンプ車 2 台 定員 15 名
〃 7 月 4 日	職員 4 名増員 実員 19 名
○昭和 24 年 5 月 31 日	職員 6 名増員 実員 25 名
〃 8 月 18 日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の 3 係を置く
〃 12 月 15 日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和 25 年 8 月 19 日	小牧大火 集落の 3 分の 1、16 戸全焼 (2,300 m ²)、損害額 12,437 千円
〃 11 月 23 日	指令車 (トヨタクラウン) を購入配置
〃 12 月 20 日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車 2 台、普通ポンプ車 1 台
○昭和 26 年 4 月 11 日	職員 7 名増員 実員 32 名
○昭和 28 年 9 月 25 日	台風 13 号襲来 由良川水位 8.1m に達し市街地全域が水没し、死者 4 名、重軽傷者 788 名、家屋の流失 55 戸、家屋の全壊 428 戸、半壊 1,181 戸、床上浸水 3,641 戸 (内 2 階浸水 3,202 戸)、床下浸水 195 戸、その他被害総額 6,649,424 千円
○昭和 29 年 4 月 1 日	職員 2 名増員 実員 34 名
○昭和 30 年 4 月 1 日	消防本部に消防署を併設 1 署 3 係
〃 4 月 1 日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の 8 ヶ村合併により、面積 254.93k m ² 、人口約 61,000 人
○昭和 31 年 3 月 31 日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消 FM-1 型無線を配置
〃 9 月 30 日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人
○昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1m に達し、重軽傷者 26 名、家屋の流失 4 戸、全壊 6 戸、半壊 103 戸、床上浸水 3,473 戸、床下浸水 1,644 戸、その他被害総額 1,164,566 千円
○昭和 35 年 3 月 5 日	普通ポンプ車を購入配置 (更新)
○昭和 36 年 9 月 16 日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43m を記録し、死者 3 名、重軽傷者 6 名を出し、家屋の全壊 9 戸、半壊 67 戸、その他被害総額 162,482 千円
○昭和 37 年 5 月 8 日	内記五丁目大火 全焼 12 戸、半焼 3 戸、部分焼 6 戸、農機工場より出火、焼失面積 2,393 m ² 、損害額 23,911 千円
〃 5 月 8 日	技術吏員 1 名増員し、危険物規制事務開始 実員 35 名
〃 11 月 20 日	福知山市字天田小字中長戸 76 番地に、鉄筋コンクリート 2 階建庁舎を建設し業務を開始
〃 12 月 20 日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和 40 年 3 月 31 日	小牧大火 全焼 7 戸、部分焼 2 戸、焼失面積 782 m ² 、損害額 8,732 千円
○昭和 42 年 12 月 4 日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員 4 名増員 実員 39 名
○昭和 45 年 3 月 4 日	大槻内科医院より自動二輪車 4 台寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	職員 1 名増員 実員 40 名

○昭和 45 年 11 月 13 日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和 46 年 4 月 1 日	職員 3 名採用 実員 40 名
○昭和 47 年 3 月 15 日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和 48 年 10 月 1 日	職員 3 名増員 実員 43 名
〃 12 月 13 日	新町大火 全焼 13 戸、半焼 2 戸、部分焼 8 戸、り災世帯 10 世帯、り災人員 43 名、 焼失面積 1,929 m ² 、損害額 60,708 千円 消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
○昭和 49 年 2 月 13 日	内記六丁目大火 全焼 6 戸、半焼 1 戸、部分焼 1 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 35 名、死者 1 名、負傷者 2 名、焼失面積 730 m ² 、損害額 28,130 千円
〃 4 月 1 日	消防職員 7 名増員 実員 50 名
〃 5 月 10 日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
〃 5 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新）
〃 7 月 1 日	本部機構改革、2 課 5 係
○昭和 50 年 2 月 27 日	化学車（Ⅲ型）を購入配置
〃 4 月 1 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新） 消防職員 4 名増員 実員 54 名
○昭和 51 年 2 月 6 日	農協共済より救急車（２Ｂ）の寄贈を受ける
〃 5 月 13 日	内記四丁目大火 全焼 7 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 3 世帯、り災人員 20 名、焼失 面積 1,267 m ² 、損害額 19,793 千円
〃 6 月 14 日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
〃 7 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 55 名
○昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 56 名
〃 7 月 19 日	指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 56 名
〃 10 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 58 名
○昭和 54 年 3 月 26 日	原動機付自転車 2 台を購入配置
〃 3 月 31 日	福知山消防署庁舎改修
〃 8 月 1 日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和 55 年 1 月 23 日	普通消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置
〃 3 月 11 日	日本損害保険協会より救急自動車（３Ｂ）の寄贈を受ける
〃 8 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 58 名
○昭和 56 年 1 月 23 日	一市三町広域消防調印式挙行
〃 3 月 9 日	普通消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
〃 3 月 31 日	救急車を購入配置する
〃 4 月 1 日	一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員 21 名増員 実員 79 名
〃 9 月 11 日	福知山市長田野町三丁目 12 番地の 2 福知山消防署東分署庁舎完成 （ＲＣ造 2 階建延床面積 772.82 m ² ） 福知山市字牧 471 番地の 2 福知山消防署北分署庁舎完成 （ＲＣ造 2 階建延床面積 419.81 m ² ）
〃 9 月 21 日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
〃 9 月 24 日	普通消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を 2 台購入、2 分署に配置

○昭和 56 年	9 月 30 日	広報車を購入し、東分署に配置
"	10 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名×2 分署）
"	11 月 20 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
"	12 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年	3 月 24 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
"	12 月 11 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年	3 月 31 日	小型動力ポンプ（Ｃ－Ⅰ級）を購入し、2 分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
"	9 月 26 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）の寄贈を受ける
"	9 月 29 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年	3 月 30 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
"	3 月 31 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（２Ｂ型）を購入配置（更新）
"	8 月 31 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年	4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く 消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年	3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、消防署に配置（更新）
"	3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年	1 月 17 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
"	3 月 18 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
"	4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
"	5 月 24 日	2 時 36 分 西中ノ町建物火災、3 時 50 分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、焼失面積 709 m ² 、損害額 47,302 千円
"	10 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年	12 月 4 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年	3 月 31 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
"	4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
"	5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年	4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
"	6 月 25 日	ＪＲ福知山線「岡踏切」列車事故 重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名
"	8 月 20 日	北京都信用金庫より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年	2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、東分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
"	10 月 16 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
"	11 月 25 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5 年	1 月 30 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名

○平成 5 年 4 月 26 日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2 B 型）の寄贈を受ける
〃 7 月 1 日	職員定員 104 名とする
〃 9 月 1 日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
〃 9 月 17 日	消防職員 4 名増員 実員 98 名
〃 9 月 30 日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ 型）の寄贈を受ける
〃 11 月 11 日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 99 名
〃 5 月 18 日	本部初の救急救命士 1 名誕生
○平成 7 年 1 月 18 日	兵庫県南部地震による応援出動（～26 日）
〃 1 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 2 月 14 日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 2 名増員） 実員 101 名 救急救命士 実員 1 名
○平成 8 年 1 月 22 日	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ 型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3 月 11 日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 101 名 救急救命士 実員 2 名
〃 4 月 30 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 6 係となる
〃 11 月 14 日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
○平成 9 年 4 月 1 日	
〃 5 月 19 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名 救急救命士 実員 4 名
〃 12 月 22 日	自治体消防制度 50 周年、市制施行 60 周年記念行事（消防フェア福知山）開催
〃 12 月 28 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 10 年 3 月 3 日	福知山市防災センター竣工
〃 4 月 1 日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ 型）運用開始
	消防無線第 2 市波運用開始
	携帯電話からの 119 番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
〃 8 月 27 日	救急救命士 実員 8 名 北分署改修工事着手
○平成 11 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名 救急救命士 実員 9 名
〃 7 月 1 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 2 分署 12 係となる 高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
○平成 12 年 3 月 7 日	消防広報誌「火の用心」創刊
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名 救急救命士 実員 11 名
○平成 13 年 1 月 22 日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
〃 3 月 1 日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める
〃 3 月 22 日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
〃 3 月 23 日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	救急救命士 実員 12 名
○平成 14 年 2 月 28 日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	救急救命士 実員 13 名
〃 12 月 16 日	はしご付消防ポンプ自動車（30m 級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）

○平成 15 年 4 月 1 日	消防職員 2 名（内 1 名救急救命士資格取得者）採用 実員 102 名 救急救命士 計 14 名
〃 12 月 1 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 16 年 2 月 23 日	第 1 回自主防火・防災リーダー養成講座実施
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 102 名 予防課に住民安全係を設置。本部 2 係、署 2 課 1 室 2 分署 13 係となる
〃 4 月 2 日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
〃 9 月 11 日	「救急フェア」開催
〃 10 月 20 日 ～21 日	「台風 23 号災害」半壊・一部損壊 63 戸、浸水家屋 844 戸 被害額 4,421,498 千円。由良川水位 7.55m に達する
〃 11 月 13 日	ＩＰ電話（ケイオプティコム）からの 119 番通報受信開始
○平成 17 年 2 月 14 日	ＩＰ電話（日本テレコム）からの 119 番通報受信開始
〃 3 月 29 日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名 救急救命士 実員 16 名
〃 6 月 11 日	消防団緊急伝達システム 運用開始
〃 8 月 29 日	ＩＰ電話（平成電電）からの 119 番通報受信開始
〃 10 月 1 日	ＩＰ電話（ＫＤＤＩ）からの 119 番通報受信開始
○平成 18 年 1 月 1 日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
〃 1 月 10 日	ＩＰ電話（ＮＴＴ西日本）からの 119 番通報受信開始
〃 2 月 2 日	携帯電話 119 番通報 直接受信開始
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 104 名 救急救命士 実員 17 名
〃 10 月 29 日	第 1 回自主防火・防災リーダー中級講座実施
〃 12 月 21 日	ＩＰ電話（平成電電）からの 119 番通報受信終了
○平成 19 年 2 月 1 日	消防ポンプ自動車（水槽付ＣＤ－Ｉ型）を購入し、北分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 103 名
〃 4 月 1 日	予防技術資格者認定制度開始
〃 10 月 1 日	携帯電話・ＩＰ電話発信位置表示通知システム導入
〃 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念 事業（消防防災フェア）開催
○平成 20 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 104 名
〃 11 月 8 日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成 21 年 3 月 23 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 104 名 救急救命士 実員 18 名
○平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする 消防職員 12 名採用 実員 110 名 救急救命士 実員 20 名
〃 4 月 17 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
〃 6 月 1 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 10 月 14 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年 3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3 月 11 日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 2 日）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用 実員 114 名 救急救命士 実員 22 名 北分署機構改正。増員（分署長以下 22 名）、および昨年度寄贈の高規格救急自動車 を配置し、救急 2 隊運用を開始する

○平成 24 年 3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工
〃 3 月 30 日	「福知山市防災広場」竣工
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名 救急救命士 実員 24 名
〃 4 月 25 日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始
〃 5 月 1 日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成 25 年 1 月 17 日	消防防災センター来館者が 1 万人に達する
〃 3 月 6 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける
〃 2 月 14 日	下紺屋町建物火災、全焼 6 棟、部分焼 6 棟、ぼや 1 棟、り災人員 20 名、焼失面積 802 m ²
〃 4 月 1 日	消防職員 10 名採用（内 6 名増員） 実員 123 名 救急救命士 実員 25 名
〃 8 月 15 日	消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間）
〃 9 月 15 日	福知山花火大会会場で火災事故発生 死者 3 名 負傷者 56 名 「台風 18 号災害」全壊 2 棟、半壊 311 棟、床下浸水 356 棟、大規模半壊 19 棟、一部損壊・床上浸水 423 棟、由良川水位 8.3m に達する
〃 10 月 24 日	京都府立消防学校北部訓練拠点開設式 京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
○平成 26 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員） 実員 124 名 救急救命士 実員 26 名 消防署に指揮隊車を配置し、24 時間常駐の指揮隊の運用を開始する 消防救急デジタル無線運用開始
〃 8 月 16 日	「8 月豪雨災害」16 日～17 日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害の発生 4,500 棟が浸水
○平成 27 年 1 月 29 日	消防団簡易デジタル無線整備
〃 3 月 27 日	水槽付消防ポンプ自動車（1-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 8 名採用（内 1 名増員） 実員 125 名 救急救命士 実員 25 名 消防本部機構改革 本部 4 課 8 係、署 4 課 2 分署 13 係となる
〃 7 月 14 日	e ラーニング方式による救急講習を開始
〃 9 月 9 日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設
○平成 28 年 1 月 18 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 25 日	指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 126 名 救急救命士 実員 26 名 消防署機構改革 4 課 2 分署 12 係となる
〃 4 月 16 日	熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 22 日）
〃 11 月 6 日	消防防災センターオープン 5 周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成 29 年 3 月 29 日	消防防災センター来館者が 5 万人に達する
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 4 名増員） 実員 129 名 救急救命士 実員 27 名
〃 4 月 10 日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署北分署に配置（更新）
〃 9 月 17 日	「台風 18 号災害」一部損壊・床上浸水 5 棟、床下浸水 29 棟
〃 9 月 22 日	支援車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 10 月 22 日	「台風 21 号災害」半壊 12 棟、一部損壊・床上浸水 77 棟、床下浸水 92 棟

○平成 30 年	4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 130 名 救急救命士 実員 28 名 消防本部機構改革 本部 3 課 6 係、署 4 課 2 分署 14 係となる
"	7 月 3 日	「7 月豪雨災害」 全壊 5 棟 半壊 39 棟 一部損壊・床上浸水 208 棟 床下浸水 493 棟
"	7 月 31 日	7 月豪雨災害発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～ 8 月 1 日：広島県広島市）
○平成 31 年	2 月 18 日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	2 月 22 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 129 名／定数 130 名 救急救命士 実員 29 名
令和元年	7 月 12 日	一般社団法人無人航空機器操縦士養成協会と『消防活動における無人航空機等による協力に関する協定』を締結
○令和 2 年	3 月 30 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊土砂風水害機動支援部隊用車両として重機搬送車と重機の無償貸与を受ける
"	4 月 1 日	消防職員 8 名採用 実員 130 名／定数 130 名 救急救命士 実員 31 名
"	4 月 1 日	京都府中・北部地域消防指令センター共同運用準備委員会を設置
"	4 月 28 日	化学消防ポンプ自動車を購入、東分署に配置（更新）
"	8 月 26 日	福正小松販売（株）、但馬重機（株）と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"	11 月 9 日	京都府中・北部地域消防指令事務協議会を設置
○令和 3 年	3 月 1 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置（更新）
"	3 月 7 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 130 名／定数 130 名 救急救命士 実員 32 名 消防署機構改革 本部 3 課 7 係、署 4 課 2 分署 18 係となる
"	4 月 21 日	「福知山市水防センター」運用開始
"	12 月 23 日	日立建機日本（株）関西支社と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
○令和 4 年	3 月 18 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、北分署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 129 名／定数 130 名 救急救命士 実員 35 名
○令和 5 年	2 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	2 月 14 日	福知山建設業協会と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"	"	福知山生コンクリート協同組合と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
"	4 月 1 日	消防職員 7 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 129 名／定数 130 名 救急救命士 実員 37 名
"	6 月 1 日	消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署に配置（更新）
"	8 月 14 日	「台風 7 号災害」全壊 10 棟、半壊 2 棟、準半壊 6 棟・床上浸水 22 棟、床下浸水 79 棟
○令和 6 年	1 月 1 日	令和 6 年能登半島地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動 （～ 2 月 19 日：石川県珠洲市）
"	2 月 1 日	消防本部機構改革 本部 3 課 5 係、署 4 課 2 分署 15 係となる
"	4 月 1 日	消防職員定数 155 名とする 消防職員 9 名採用 実員 137 名／定数 155 名 救急救命士 実員 38 名 消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間） 福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、京都中部広域消防組合及び宮津与謝消防組合が、共同で 119 番通報を一括受信・共同処理する「京都府中・北部地域消防指令センター」の運用を開始

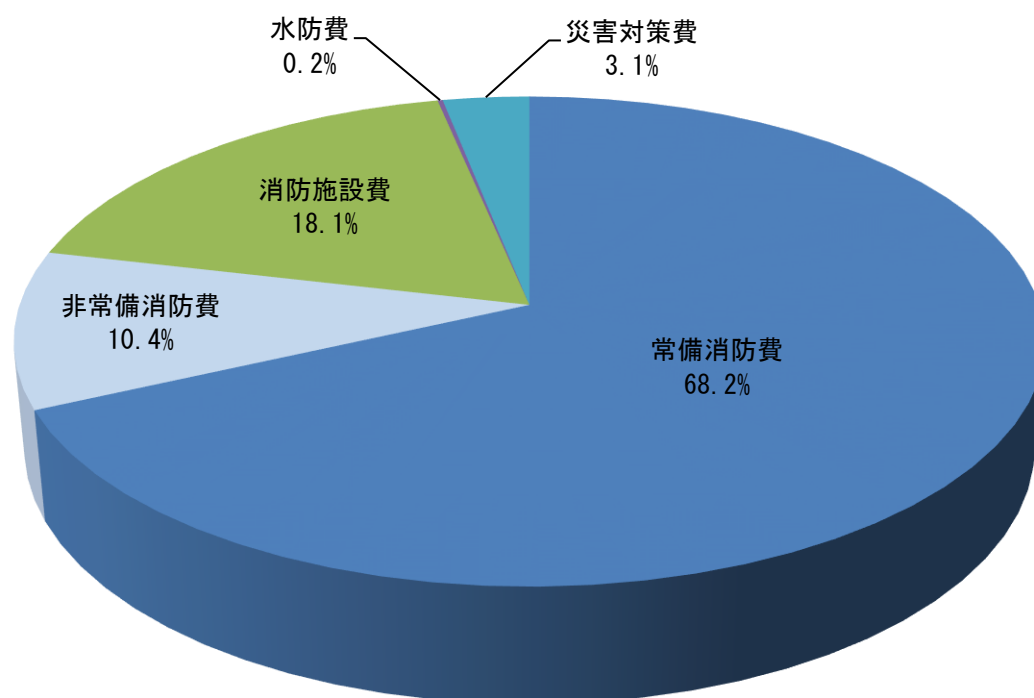
	10 月 8 日	Instagram 福知山市消防本部公式アカウントの運用開始
	10 月 25 日	指揮広報車を購入し、東分署に配備（更新）
	10 月 26 日	三峠断層を震源想定とした令和 6 年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を福知山市内で実施（～10 月 27 日）
	11 月 1 日	資機材搬送車を購入し、東分署に配置（更新）
○令和 7 年	2 月 1 日	高規格救急自動車（日産パラメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
	4 月 1 日	消防職員 6 名採用 実員 140 名／定数 155 名 救急救命士実員 42 名

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度		令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	
一般会計予算		47,190,000	46,170,000	47,100,000	
消防費予算		1,858,678	1,766,001	2,713,510	
比		3.9%	3.8%	5.7%	
内 訳	常備消防費		1,268,110	1,138,655	1,085,285
	非常備消防費		193,260	244,711	234,229
	その他	消防施設費	335,767	304,201	1,288,932
		水防費	3,394	4,988	6,803
		災害対策費	58,147	73,446	98,261

2 令和7年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(令和7年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条例定数								155
実員	1	3	23	36	42		34	1	140

消防職員の配置表

(令和7年4月1日)

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
合 計		1	3	23	36	42		34	1	140
消防本部	消防長	1								1
	総務課	次長兼課長	1							1
		担当課長		1						1
		総務係		1	2				1	4
		消防団係		1	1					2
	消防課	課長		1						1
		企画係			1	1				2
		施設設備係		1		1				2
	通信指令課	次長兼課長	1							1
		課長補佐		1						1
		共同運用係			3					3
	次長兼署長		1							1
	警防課	課長		1						1
		担当課長		1						1
		救助係			2	3		2		7
		消防係			2	4		2		8
		救急係		1	2			3		6
		救急企画係			2	3		2		7
消防署	予防課	課長		1						1
		担当課長		1						1
		予防企画係		1	3	1		1		6
		予防指導係			4	3		3		10
		危険物係		1	1	1		1		4
		予防査察係		1		3				4
		調査係		1		1		2		4
	警備	第1課		2(1)	1(4)	1(9)		(7)		4(21)
		第2課		2	1(6)	1(6)		(8)		4(20)
東分署	分署長			1						1
	警備第1係				3	5		3		11
	警備第2係			1	2	5		3		11
北分署	分署長			1						1
	警備第1係			1	3	5		2		11
	警備第2係				3	4		4		11
初任教育入校								6		6

※()は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(令和7年4月1日)

	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他の 消防職員	合計
20才未満							6		6
20才以上 24才以下							19		19
25才以上 29才以下					14		7		21
30才以上 34才以下					22		2		24
35才以上 39才以下				15	6			1	22
40才以上 44才以下			1	15					16
45才以上 49才以下			6	3					9
50才以上 54才以下		1	12	1					14
55才以上	1	2	4	2					9
合計	1	3	23	36	42		34	1	140
平均年齢	59.0	56.0	51.0	41.2	31.1		22.5	35.0	35.7

消防職員階級別勤続年数

(令和7年4月1日)

	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他の 消防職員	合計
5年未満							27	1	28
5年以上 10年未満					20		7		27
10年以上 15年未満				12	21				33
15年以上 20年未満				17	1				18
20年以上 25年未満			1	4					5
25年以上 30年未満			8						8
30年以上	1	3	14	3					21
合計	1	3	23	36	42		34	1	140
平均勤続年数	34.0	36.0	30.4	16.9	9.8		2.2	3.0	13.9

事務分掌

【消防本部事務分担表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 消防団に関する事。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関する事。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関する事。

消防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 消防施策の立案及び調整に関する事。
- 3 消防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 消防行政の広報に関する事。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- 7 水防計画に関する事。
- 8 その他消防業務に関する事。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関する事。
- 3 消防指令施設及び消防通信施設の保安全管理及び技術指導に関する事。
- 4 消防通信の高度化に関する事。
- 5 京都府中・北部地域消防指令事務協議会に関する事。
- 6 その他通信指令業務に関する事。

【消防署事務分担表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関する事。
- 4 警防訓練に関する事。
- 5 消防関係団体に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 9 消防団に関する事。
- 10 消防隊等の出動計画に関する事。
- 11 火災・救急・救助業務の技能・安全管理及び高度化に関する事。
- 12 その他火災・救急・救助業務に関する事。
- 13 火災・救急・救助統計に関する事。
- 14 警防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 15 救急搬送証明書の交付に関する事。
- 16 消防署の他の課の主管に属さない事。

予防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 火災予防対策に関すること。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法制に関すること。
- 4 防火・防災管理者に関すること。
- 5 予防査察及び防火指導に関すること。
- 6 予防広報に関すること。
- 7 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 8 違反処理に関すること。
- 9 消防用設備等及び特殊消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 10 建築物の確認同意事務に関すること。
- 11 危険物製造所等の許認可に関すること。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関すること。
- 13 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 15 自主防災組織等の育成に関すること。
- 16 消防関係団体に関すること。
- 17 火災統計に関すること。
- 18 火災調査に関すること。
- 19 リ災証明書の交付に関すること。
- 20 福知山市防災センターの運営・管理に関すること。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害現場活動及びその統括調整並びに教養訓練に関すること。
- 2 現場指揮及び安全管理に関すること。
- 3 警防計画等の策定及び対策に関すること。
- 4 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 5 消防通信の運用に関すること。
- 6 火災調査に関すること。
- 7 気象情報及び災害情報に関すること。
- 8 災害発生時の関係機関との連絡調整に関すること。
- 9 非常招集に関すること。
- 10 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 11 消防地理水利に関すること。
- 12 火災・救急・救助業務に関すること。
- 13 消防団に関すること。
- 14 その他消防署長が必要と認めること。

分 署

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 分署員の教養訓練に関すること。
- 4 庁舎管理に関すること。
- 5 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 6 消防地理水利に関すること。
- 7 火災・救急・救助業務に関すること。
- 8 消防団に関すること。
- 9 災害現場活動に関すること。
- 10 警防計画等の策定及び対策に関すること。
- 11 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 12 火災調査に関すること。
- 13 その他分署長が必要と認めること。

消防相互応援協定の締結状況

(令和7年4月1日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両 丹 都 市 消 防 相 互 応 援 協 定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成 21 年 2 月 1 日	市 域 間 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
消 防 相 互 応 援 に 関 す る 協 定	京都中部広域 消防組合	平成 20 年 4 月 1 日	常 備 消 防 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	豊岡市	平成 18 年 1 月 1 日	市 域 間 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	南但広域 行政事務組合	平成 25 年 4 月 1 日	〃
〃	丹波市	平成 19 年 1 月 1 日	〃
〃	篠山市	平成 11 年 4 月 26 日	〃
京 都 府 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	京都府 26 市町村 ・ 4 消防組合	令和 2 年 3 月 27 日	大 規 模 災 害 及 特 殊 災 害 等
舞 鶴 若 狹 自 動 車 道 に お け る 消 防 相 互 応 援 協 定	敦賀美方消防組合 若狹消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 丹波篠山市 三田市 三木市 神戸市	令和 6 年 4 月 1 日	高 速 道 路 に お け る 火 災 ・ 救 急 及 救 助 業 務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(令和7年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・型式	登録年月日	定員	備 考
本部	指 令 車	指 令 車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 3. 24	8	
消 防 署	ポンプ1号車	ポ ン プ 車	日 野 2KG-XZU685M	R5. 5. 17	5	CD- I 型
	ポンプ2号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H19. 1. 25	5	CD- I 型
	ポンプ5号車	ポ ン プ 車	三 菱 KK-FG72EC	H15. 11. 26	5	CD- I 型
	タ ン ク 車	水槽付ポンプ車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H27. 3. 5	6	水1-A型 圧縮泡消火装置付き
	救 助 工 作 車	救 助 工 作 車	日 野 2KG-GX2ABA	H31. 1. 10	6	
	梯 子 車	梯子付ポンプ車	日 野 2DG-FH1AGA改	R3. 1. 15	6	25m級
	機 動 装 備 車	機 動 装 備 車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2. 21	3	
	重機搬送車	重機搬送車	日 野 2DG-GK2ABA	R2. 3. 18	3	
	救 急 1 号 車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3. 3. 4	7	高規格
	救 急 2 号 車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 1. 8	7	高規格
	指 揮 隊 車	指 揮 隊 車	トヨタ CBF-TRH216K	H26. 3. 24	5	
	支 援 車	支 援 車	ニッサン DBA-NT32	H29. 9. 19	5	
	資機材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KF-CM85	H13. 3. 19	3	
	資 材 搬 送 車	資 材 搬 送 車	ニッサン KG-SP2F23	H11. 12. 15	6	団予備車
	連 絡 車	広 報 車	スズキ CBA-MH21S	H16. 7. 30	4	
	防 火 指 導 車	防 火 指 導 車	ホンダ DBA-JF2	H24. 9. 14	4	
	査 察 車	査 察 車	ダイハツ DBA-LA600S	H29. 4. 27	4	
	救 援 車	救 援 車	トヨタ CBA-TRH214W	H16. 12. 16	10	
	搬 送 車	搬 送 車	トヨタ CBF-TRH228B	H18. 5. 26	15	
	防 災 学 習 車	防 災 学 習 車	トヨタ CBF-TRH226K	H29. 11. 27	6	
	防 火 広 報 車	防 火 広 報 車	ダイハツ 3BD-S331V	R2. 11. 13	4	
東 分 署	ポンプ3号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H22. 5. 24	6	CD- I 型
	化 学 車	化学ポンプ車	日 野 2KG-GX2ABA	R2. 3. 30	6	II 型
	救 急 3 号 車	救 急 車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7. 1. 10	7	高規格
	救 急 5 号 車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5. 1. 26	7	高規格
	東指揮広報車	指 揮 車	スバル 5AA-SKE	R6. 10. 7	5	
	東資材搬送車	資 材 搬 送 車	日 野 2DG-XZU685M	R6. 10. 17	6	
北 分 署	ポンプ4号車	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU685M	H29. 3. 23	5	CD- I 型 圧縮泡消火装置付き
	救 急 4 号 車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R4. 3. 11	7	高規格
	救 急 6 号 車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H31. 2. 12	7	高規格
	北指揮広報車	指 揮 車	ニッサン UA-NT30	H17. 11. 18	5	
	北資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KG-LY230	H15. 10. 2	6	

消防水利の状況

(令和7年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	令和6年度		40立米 以上 現 有	40立米 未満 現 有		令和6年度		上水道 現 有	簡易水道 現 有
	新設	廃止				新設	廃止		
中 央	1		106	7	2	2	5	454	
大 正		1	47	2	1			161	
雀 部	1		48	5	1	2	1	187	
庵 我			28	13	1			83	
修 齊		2	79	17	1	1	1	294	
西 中		2	40	3	1		1	143	
下 川			33	5				91	
上 豊			25	15	1	1		161	
上 六			22	6	1			78	
中 六			23	3				59	
下 六			64	5				142	
上 川			23	2	1			144	
金 谷		1	19	5	1			89	
三 岳			8	3	1	1			120
金 山			11	4					98
雲 原			1	1					70
佐 賀			7	5	1			88	
長 田 野	6		134	29	1	3		111	
菟 原	1		48	13	1	1			153
細 見		1	74	14	1		1		201
川 合			48	3	1				101
上夜久野			52	10		1	1		256
中夜久野			18	2			1		130
下夜久野			29	4	1		2		211
河 守			29		1				124
河 守 上			27	4	1		1		117
河 西			14	5	1		1		80
河 東			32	3	1		1		115
有 路 上			41	4	1				109
有 路 下			32	3					97
合 計	9	7	1,162	195	23	12	16	2,285	1,982

救助活動のための機械器具等の保有状況

(令和7年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	8	6	2
	三連はしご	7	2	1
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射装置	1		
	救助縛帯	6		
	平担架	2	2	
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	1
	可搬ウインチ	3	2	1
	マンホール救助器具	2		
	マット型空気ジャッキ	2		
	大型油圧スプレッダー	4	1	
切断用	大型油圧切断機	2		
	エンジンカッター	7	3	1
	チェーンソー	3	2	2
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	2		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	8	5	4
破壊器具	万能斧	11	6	3
	ハンマー	5	1	
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	3		
測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	18	6	6

(令和7年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	31	10	7
	防塵マスク	37	6	
	送排風機	2	1	
隊員保護用	耐電手袋	11	5	6
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	5	6
	防塵メガネ	24	9	13
	携帯警報器	11	10	7
	陽圧式化学防護服	9		
水難救助用	潜水器具	10		
	救命胴衣	76	16	12
	救命ボート	7	3	3
	船外機	5	2	2
	救命浮環	9	2	2
	流水救助器具	16	4	4

【統計】

火災概要

			令和6年	令和5年	前 年 比 （ △ 減 ）
火災件数 （件） ※件数の右側（） 書きは爆発件数	建 物		19 （0）	23 （0）	△ 4 （0）
	林 野		1 （0）	2 （0）	△ 1 （0）
	車 両		3 （0）	2 （0）	1 （0）
	その他		19 （0）	25 （0）	△ 6 （0）
	計		42 （0）	52 （0）	△ 10 （0）
焼損面積	建物（㎡）	床面積	1,747	1,556	191
		表面積	57	18	39
	山林原野（a）		1	30	△ 29
焼損棟数 （棟）	全 焼		14	10	4
	半 焼			1	△ 1
	部分焼		7	5	2
	ぼ や		17	16	1
り災世帯 （世帯）	全 損		8	3	5
	半 損				
	小 損		9	4	5
り 災 人 員 （人）			44	12	32
死傷者 （人）	死 者		2		2
	傷 者		8	2	6
損害見積額 （千円）	建 物		57,219	63,399	△ 6,180
	収容物		5,750	8,908	△ 3,158
	林 野				
	車 両		1,607	73	1,534
	その他		10,230	112	10,118
	爆 発				
	計		74,806	72,492	2,314
火災発生間隔（日）			8.7	7.0	1.7
1 件平均損害額（千円）			1,781	1,394	387
1 日平均損害額（千円）			205	199	6
1 件平均建物床焼損面積（㎡）			92	68	24

累年火災比較（10年間）

			平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成31年 令和元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
火災件数 （件）	建 物		15	20	18	15	12	10	13	17	23	19
	林 野			1	3			2	1	3	2	1
	車 両		1	3	7	3	6	1		3	2	3
	その他		16	14	14	20	10	4	8	14	25	19
	計		32	38	42	38	28	17	22	37	52	42
焼損面積	建物 （㎡）	床面積	350	683	763	1,013	447	275	164	697	1,556	1,747
		表面積	53	4	47	34	3		53	27	18	57
	山林原野（a）		1	38	3			15		4	30	1
焼損棟数 （棟）	全 焼		9	5	5	3	6	4	4	3	10	14
	半 焼				3	1	1	1		2	1	
	部分焼		5	4	8	8	5		4	6	5	7
	ぼ や		8	14	5	7	7	7	9	10	16	17
り災世帯 （世帯）	全 損		3	2	2	2	4		1	2	3	8
	半 損			1	1		1	1				
	小 損		5	16	9	5	5	1	6	6	4	9
り災人員（人員）			10	32	28	22	26	6	13	17	12	44
死傷者 （人）	死 者		2	2	4		2	1	1	1		2
	傷 者		1	5	4	6	4	1	1	7	2	8
損害見積額 （千円）	建 物（収容物含む）		24,052	26,521	31,480	47,901	40,634	17,134	24,210	54,125	72,307	62,969
	林 野							1				
	車 両		755	444	691	258	543	127		519	73	1,607
	その他		55		213	17	38	132	365	8	112	10,230
	爆 発		22,528	1,600	6,378							
	計		47,390	28,565	38,762	48,176	41,215	17,394	24,575	54,652	72,492	74,806

署・分署別火災発生状況

(令和6年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物	9	3	7	19
	林 野		1		1
	車 両		3		3
	その他	4	9	6	19
	計	13	16	13	42
焼損面積	建 物 (㎡)	774	365	608	1,747
	山林原野 (a)			1	1
焼損棟数 (棟)	全 焼	3	5	6	14
	半 焼				
	部 分 焼	1	1	5	7
	ぼ や	11	1	5	17
	計	15	7	16	38
り災世帯 (世帯)	全 損	3	3	2	8
	半 損				
	小 損	5	1	3	9
	計	8	4	5	17
り災人員 (人)		21	12	11	44
死 者 (人)		1	1		2
傷 者 (人)		1	6	1	8
損害見積額 (千円)	建 物	27,978	19,418	9,823	57,219
	収 容 物	3,689	1,371	690	5,750
	林 野				
	車 両	39	1,555	13	1,607
	そ の 他	16	10,168	46	10,230
	爆 発				
	計	31,722	32,512	10,572	74,806

消防団管内別火災発生状況 1

(令和6年中)

	火災件数（件）					焼損面積			焼損棟数（棟）				
	建物	林野	車両	その他	計	建物（㎡）		山林原野（a）	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
中 央	3			1	4							3	3
大 正	1				1							1	1
雀 部	1		2	1	4	113			1			1	2
庵 我	1				1	92			1				1
修 斉	2			2	4	341	14		1		1	6	8
西 中				1	1								
下 川													
上 豊	2			1	3	341			1			1	2
上 六				2	2								
中 六				1	1								
下 六				2	2								
上 川				1	1								
金 谷	1				1	275	14		1		2	1	4
三 岳				1	1			1					
金 山													
雲 原													
佐 賀		1			1								
菟 原													
細見川合	2		1	2	5	252			4		1		5
上夜久野	2				2	92			1			1	2
中夜久野													
下夜久野	1			1	2		5				1		1
河 守													
河 守 上													
河 西													
河 東				2	2								
有路上	2			1	3	206	24		3		2	3	8
有路下	1				1	35			1				1
計	19	1	3	19	42	1,747	57	1	14		7	17	38

消防団管内別火災発生状況 2

(令和6年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
中 央			1	1	2		1		309					309
大 正			1	1	2				4					4
雀 部	1			1	3	1	3	10,151	621		1,455	1,236		13,463
庵 我	1			1	1	1		467	215			12		694
修 斉	1		3	4	10			24,141	2,086		9	4		26,240
西 中														
下 川														
上 豊	1			1	6			3,370	1,075		30			4,475
上 六														
中 六												150		150
下 六												8,775		8,775
上 川														
金 谷	1		2	3	7		1	6,034	112		13	13		6,172
三 岳														
金 山														
雲 原														
佐 賀														
菟 原														
細見川合	2		1	3	9		3	9,267	750		100	7		10,124
上夜久野			1	1	1			390	8					398
中夜久野														
下夜久野								17						17
河 守														
河守上														
河 西														
河 東														
有路上	1			1	3			2,336	545			33		2,914
有路下								1,046	25					1,071
計	8		9	17	44	2	8	57,219	5,750		1,607	10,230		74,806

月別火災発生状況

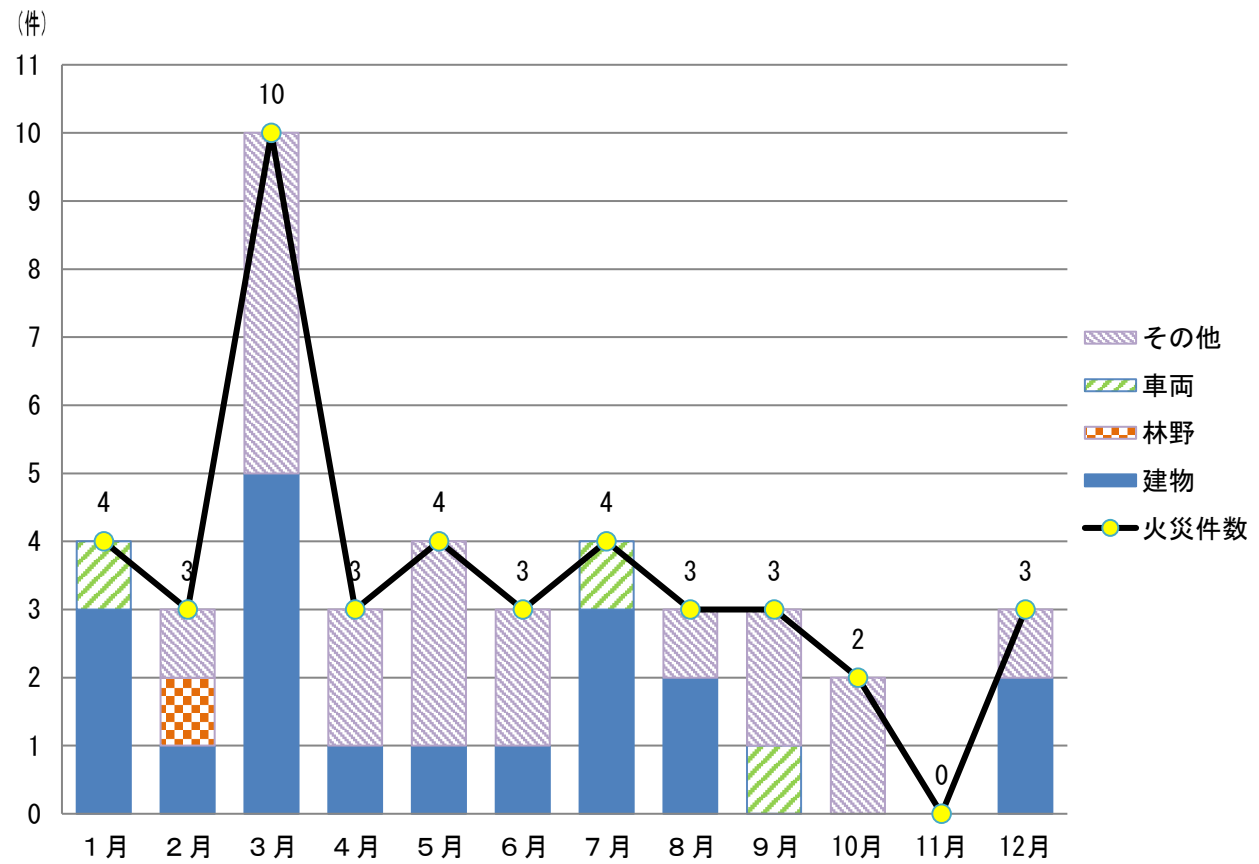
(令和6年中)

	火災発生件数（件）					焼損面積			焼損棟数（棟）				
	建物	林野	車両	その他	計	建物（㎡）		山林原野（a）	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
1月	3		1		4	35			1			3	4
2月	1	1		1	3	113			1				1
3月	5			5	10	729	38	1	8		4	5	17
4月	1			2	3	341	14		1		1	5	7
5月	1			3	4	341			1				1
6月	1			2	3	4					1		1
7月	3		1		4							3	3
8月	2			1	3	92	5		1		1		2
9月			1	2	3								
10月				2	2								
11月													
12月	2			1	3	92			1			1	2
合計	19	1	3	19	42	1,747	57	1	14		7	17	38

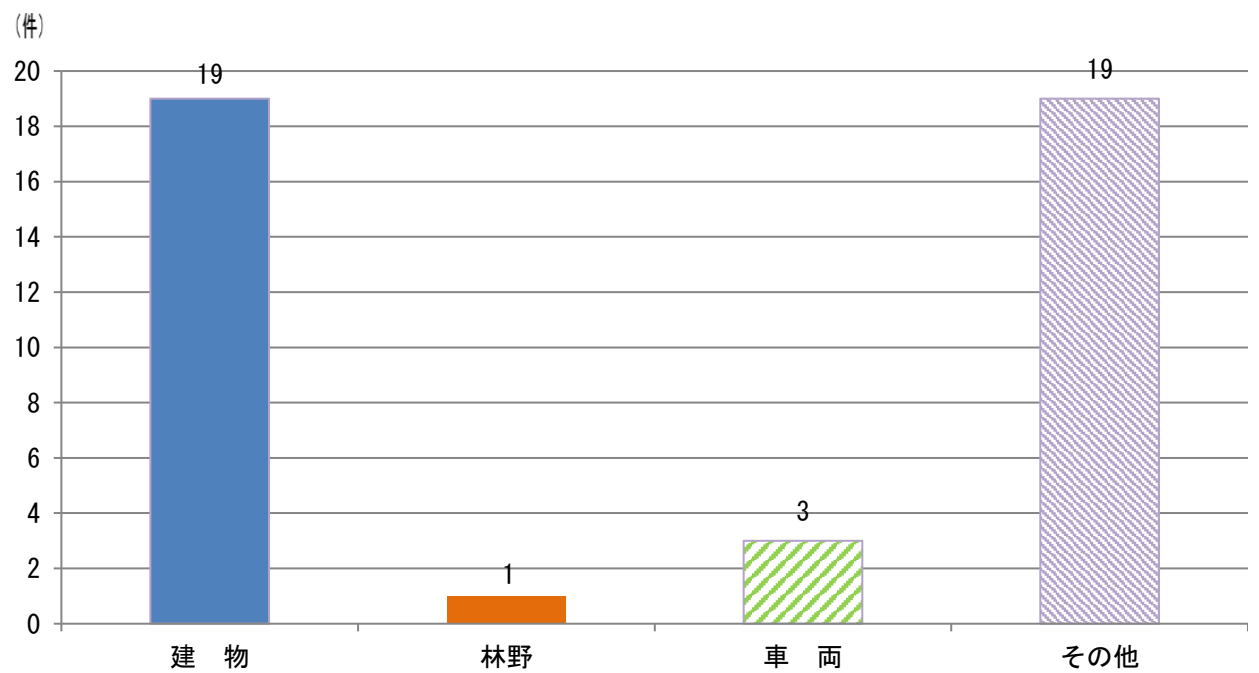
(令和6年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
1月			2	2	3		1	1,117	587		1,403			3,107
2月	1			1	3	1	2	10,080	113			150		10,343
3月	4		2	6	15		4	17,423	1,328		13	53		18,817
4月	1		3	4	10			24,113	2,074		9	4		26,200
5月	1			1	6			3,370	1,057		30			4,457
6月			1	1	4			214	79					293
7月							1	28	289		52			369
8月								407	4					411
9月											100	8,775		8,875
10月												1,236		1,236
11月														
12月	1		1	2	3	1		467	219			12		698
合計	8		9	17	44	2	8	57,219	5,750		1,607	10,230		74,806

月別火災種別件数



火災種別件数

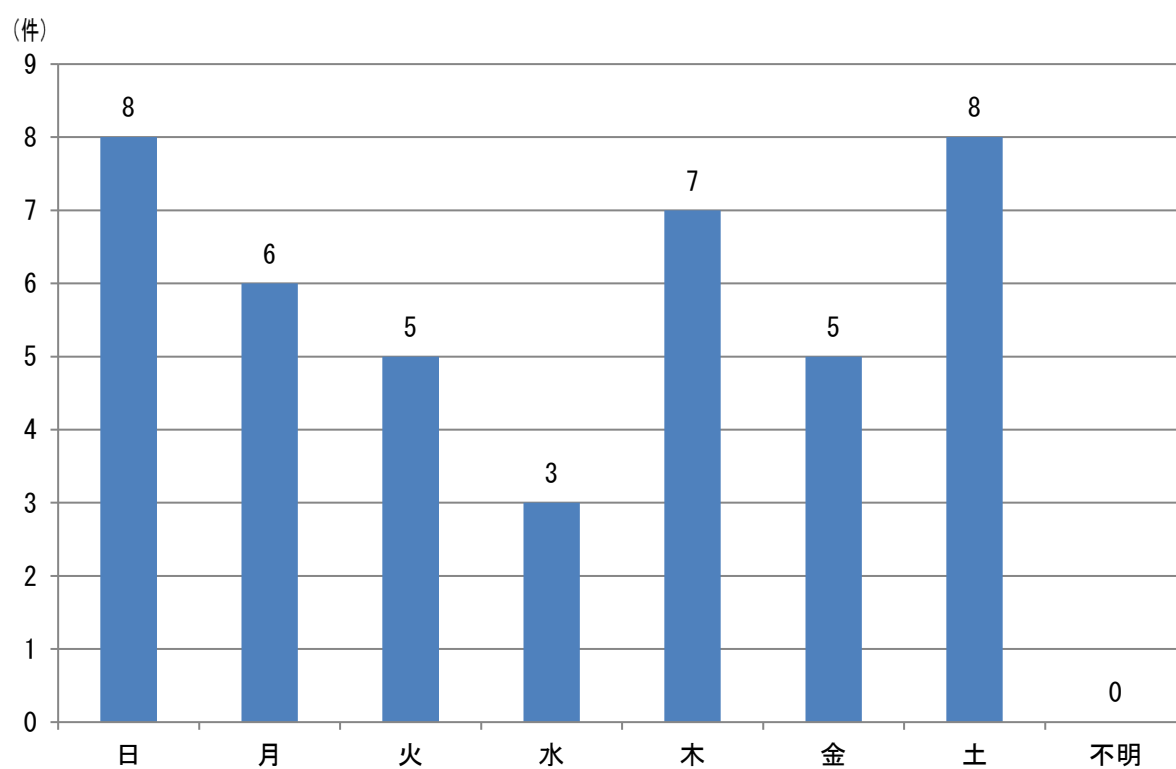


曜日・時間別火災発生状況

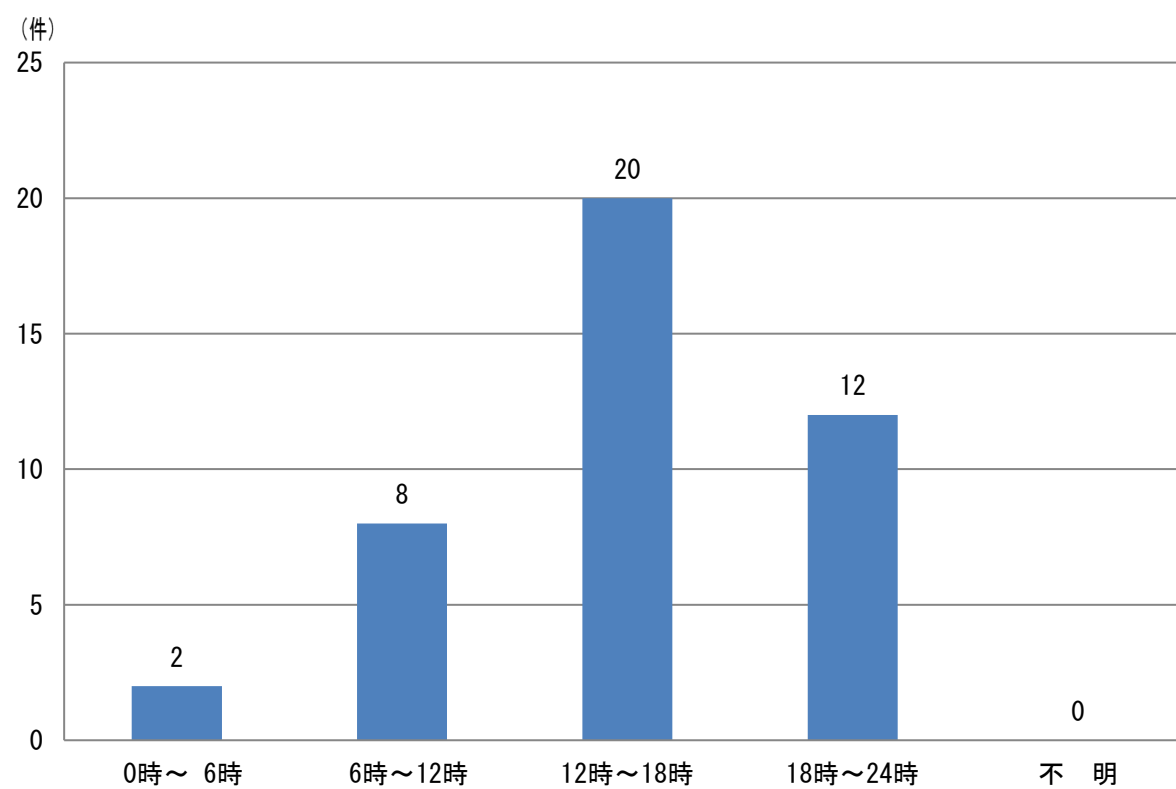
(令和6年中)

		件数 (件)	火 災 種 別				焼 損 面 積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	1	1				113			10,193
	6～12									
	12～18	3	2		1	92			398	
	18～24	4	4			210	24		3,466	
	不 明									
	計	8	7		1	415	24		14,057	
月	0～6									
	6～12	3	1		2	248			9,731	
	12～18	2			2				1,236	
	18～24	1		1					100	
	不 明									
	計	6	1	1	4	248			11,067	
火	0～6									
	6～12	1	1						50	
	12～18	4			4				8,925	
	18～24									
	不 明									
	計	5	1		4				8,975	
水	0～6									
	6～12									
	12～18	1	1			275	14		6,172	
	18～24	2	1		1					
	不 明									
	計	3	2		1	275	14		6,172	
木	0～6									
	6～12	2	1		1	341			4,457	
	12～18	4	2		2	341	14		26,218	
	18～24	1	1						40	
	不 明									
	計	7	4		3	682	14		30,715	
金	0～6	1		1					52	
	6～12	1			1					
	12～18	1		1					1,982	
	18～24	2	1		1	35			1,071	
	不 明									
	計	5	1	2	2	35			3,105	
土	0～6									
	6～12	1			1					
	12～18	5	2	1	2	92	5	1	711	
	18～24	2	1		1				4	
	不 明									
	計	8	3	1	4	92	5	1	715	
不 明										

曜日別火災発生件数



時間別火災発生件数



気象別火災発生状況

(令和6年中)

		火災件数（件）					損 害 見 積 額 （ 千 円 ）						
		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発
風 速	2m未満	14	8	1	2	3	19,800	15,648	2,638		1,485	29	
	2m～3m	10	5		1	4	12,119	11,165	831		100	23	
	3m～5m	15	6			9	42,887	30,406	2,281		22	10,178	
	5m～7m	3				3							
	7m～10m												
	10m以上												
	不明												
	計	42	19	1	3	19	74,806	57,219	5,750		1,607	10,230	
湿 度	40%未満	1	1				394	390	4				
	40%～50%	7	1			6	26,350	24,113	2,074		9	154	
	50%～60%	7		1		6	1,236					1,236	
	60%～70%	8	4			4	16,035	7,097	137		13	8,788	
	70%～80%	3	1			2	259		259				
	80%～90%	3	2			1	863	704	143			16	
	90%以上	13	10		3		29,669	24,915	3,133		1,585	36	
	不明												
	計	42	19	1	3	19	74,806	57,219	5,750		1,607	10,230	
天 候	晴	20	5	1		14	21,074	10,487	426			10,161	
	曇	19	11		3	5	45,465	39,038	4,794		1,594	39	
	雨	3	3				8,267	7,694	530		13	30	
	霧												
	雪												
	不明												
	計	42	19	1	3	19	74,806	57,219	5,750		1,607	10,230	
警 報・注意報等	火災気象通報	9	2			7	6,176	6,034	116		13	13	
	乾燥・強風注意報	2	1			1	694	467	215			12	
	なし	20	9	1	1	9	40,383	27,254	2,838		109	10,182	
	その他	11	7		2	2	27,553	23,464	2,581		1,485	23	
	不明												
	計	42	19	1	3	19	74,806	57,219	5,750		1,607	10,230	

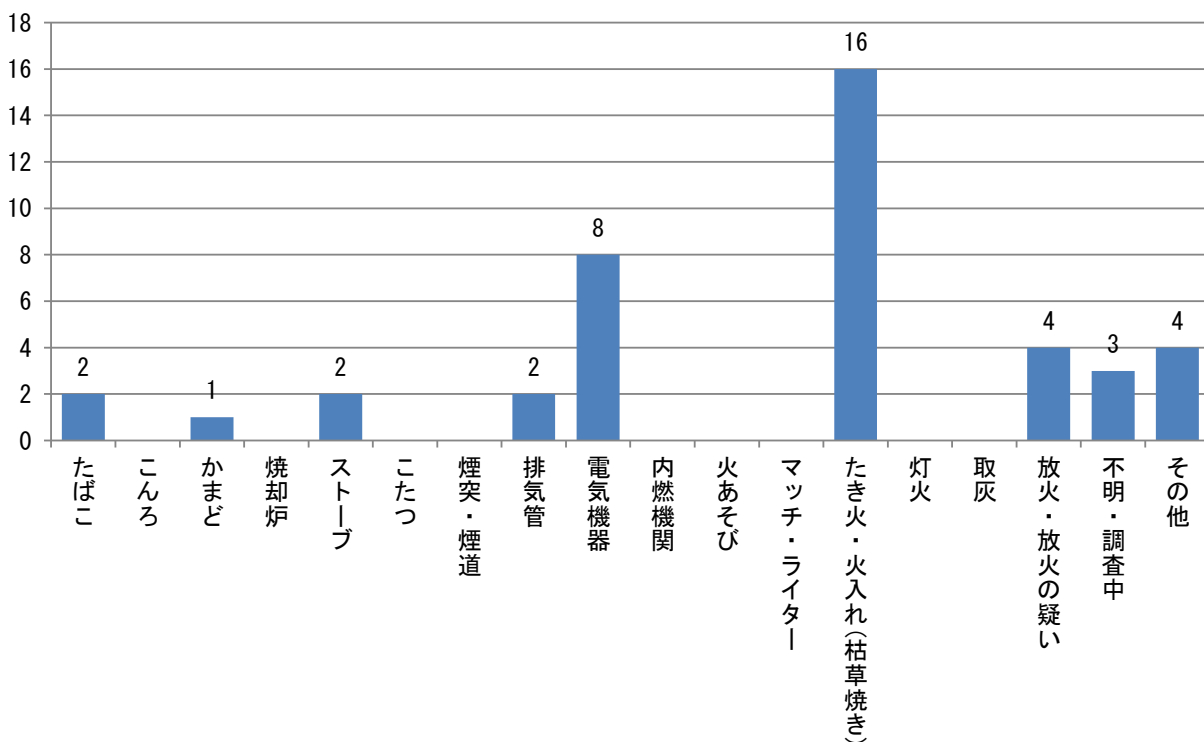
火災原因別状況

(令和6年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見 積 額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たばこ	2		1	1										10,193
こんろ														
かまど	1	1												4
焼却炉														
ストーブ	2	1		1										7,243
こたつ														
煙突・煙道														
排気管	2							1		1				152
電気機器	8	1	1			1	1	1		1	1		1	15,005
内燃機関														
火あそび														
マッチ・ライター														
たき火・火入れ(枯草焼き)	16		1	4	2	1	2		3	1	1		1	411
灯火														
取灰														
放火・放火の疑い	4			3		1								2,914
不明・調査中	3			1		1							1	10,425
その他	4	1			1			2						28,459
合 計	42	4	3	10	3	4	3	4	3	3	2		3	74,806

火災原因別件数

(件)



救急概要

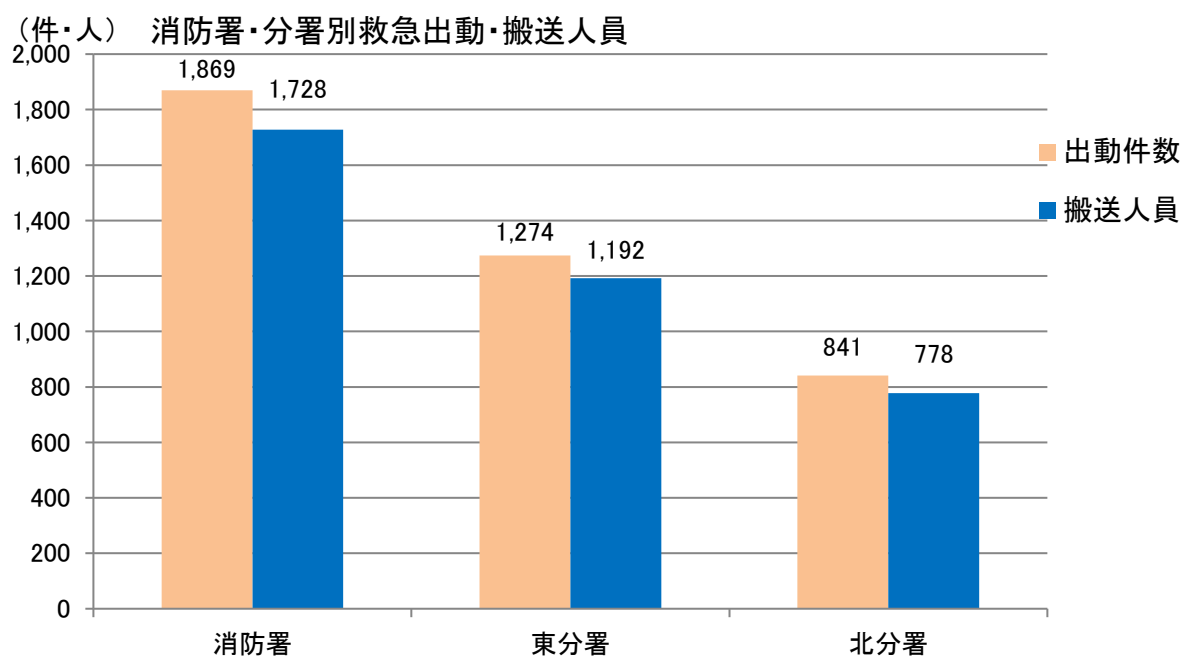
(令和6年中)

出 動 件 数 （ 件 ）			令 和 6 年	令 和 5 年	前 年 比 （ △ 減 ）
			3,984	4,012	△ 28
事 故 種 別	火 災		48	53	△ 5
	自 然 災 害				
	水 難		2		2
	交 通		293	254	39
	労 働 災 害		54	45	9
	運 動 競 技		23	24	△ 1
	一 般 負 傷		624	651	△ 27
	加 害		10	17	△ 7
	自 損 行 為		38	27	11
	急 病		2,666	2,711	△ 45
	そ の 他	転 院 搬 送	163	185	△ 22
		医 師 搬 送	15	17	△ 2
		資 材 搬 送			
		そ の 他	48	28	20
搬 送 人 員			3,698	3,653	45
不 搬 送			331	388	△ 57
1 か 月 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			332	334	△ 2
1 日 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			10.89	10.99	△ 0.10
平 均 現 着 所 要 時 間 （ 分 ）			9.36	9.55	△ 0.19

署・分署別救急活動状況

(令和6年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
消防署	出動件数(件)	6		1	124	17	17	306	7	23	1,247	121	1,869
	搬送人員(人)	2		1	123	16	16	294	7	15	1,162	92	1,728
東分署	出動件数(件)	16			99	25	6	191	3	12	890	32	1,274
	搬送人員(人)	5			107	25	6	187	3	8	842	9	1,192
北分署	出動件数(件)	26		1	70	12		127		3	529	73	841
	搬送人員(人)	1		1	76	12		122			506	60	778
合計	出動件数(件)	48		2	293	54	23	624	10	38	2,666	226	3,984
	搬送人員(人)	8		2	306	53	22	603	10	23	2,510	161	3,698



月別救急活動状況

(令和6年中)

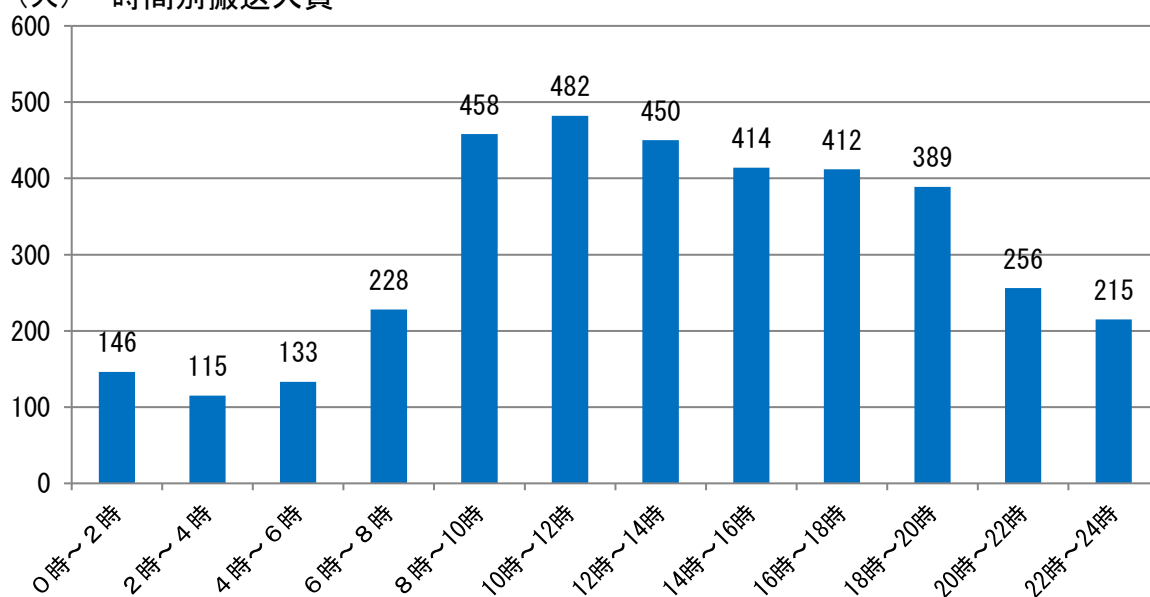
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	4			21	3		52	2	2	246	15	345
	搬送人員(人)	1			20	3		49	2	1	227	12	315
2月	出動件数(件)	5		1	26	1	1	52	2	2	220	13	323
	搬送人員(人)	2		1	25	1	1	49	2	1	210	9	301
3月	出動件数(件)	10			24	1	1	50	1	4	244	24	359
	搬送人員(人)	4			28	1	1	48	1	3	229	16	331
4月	出動件数(件)	5			34	4	1	44		5	207	16	316
	搬送人員(人)				40	4	1	43		1	192	12	293
5月	出動件数(件)	4			23	3	3	46		6	195	20	300
	搬送人員(人)	1			22	3	3	44		5	183	11	272
6月	出動件数(件)	6			27	3	1	38	1	1	214	19	310
	搬送人員(人)				28	3	1	37	1		201	14	285
7月	出動件数(件)	4		1	34	8	6	60		3	287	18	421
	搬送人員(人)			1	37	8	6	58		3	272	14	399
8月	出動件数(件)	3			18	13	6	56	1	4	240	20	361
	搬送人員(人)				18	12	6	55	1	2	229	13	336
9月	出動件数(件)	3			21	7	1	50	2	5	195	20	304
	搬送人員(人)				24	7	1	48	2	3	180	15	280
10月	出動件数(件)	2			21	4	1	46		2	196	19	291
	搬送人員(人)				20	4	1	44		2	185	13	269
11月	出動件数(件)				23	4	2	68	1		184	21	303
	搬送人員(人)				23	4	1	67	1		177	14	287
12月	出動件数(件)	2			21	3		62		4	238	21	351
	搬送人員(人)				21	3		61		2	225	18	330
合計	出動件数(件)	48		2	293	54	23	624	10	38	2,666	226	3,984
	搬送人員(人)	8		2	306	53	22	603	10	23	2,510	161	3,698

時間別事故種別搬送人員

(令和6年中)

	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
0時～2時	2			5	3		20	1	4	109	2	146
2時～4時				3			18		2	90	2	115
4時～6時			1	5			18		1	108		133
6時～8時				16	2		29		1	177	3	228
8時～10時	3			39	8		84	1	1	299	23	458
10時～12時				43	14	6	80		5	292	42	482
12時～14時	1		1	38	7	11	79		2	282	29	450
14時～16時				45	5	3	66	2	1	269	23	414
16時～18時	2			56	10	1	84		2	240	17	412
18時～20時				38	4	1	62	2	1	277	4	389
20時～22時				13			34	1	3	195	10	256
22時～24時				5			29	3		172	6	215
合 計	8		2	306	53	22	603	10	23	2,510	161	3,698

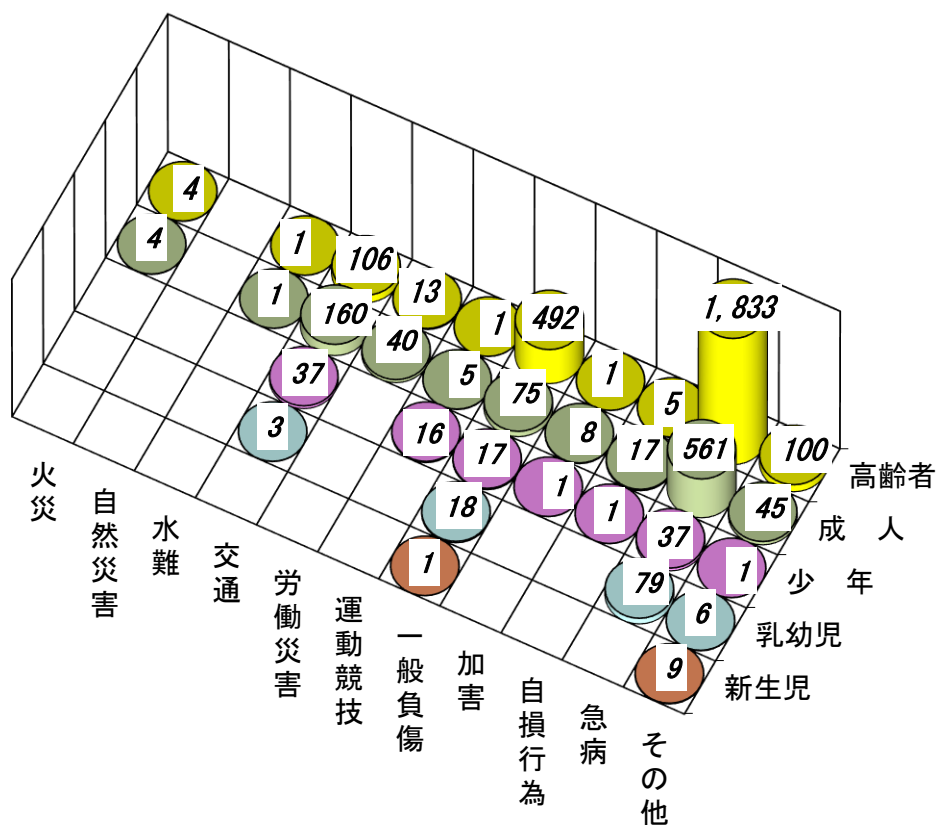
(人) 時間別搬送人員



年齢区分別事故種別搬送人員

(令和6年中)

	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
新生児							1				9	10
乳幼児				3			18			79	6	106
少 年				37		16	17	1	1	37	1	110
成 人	4		1	160	40	5	75	8	17	561	45	916
高齢者	4		1	106	13	1	492	1	5	1,833	100	2,556
合 計	8		2	306	53	22	603	10	23	2,510	161	3,698



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(令和6年中)

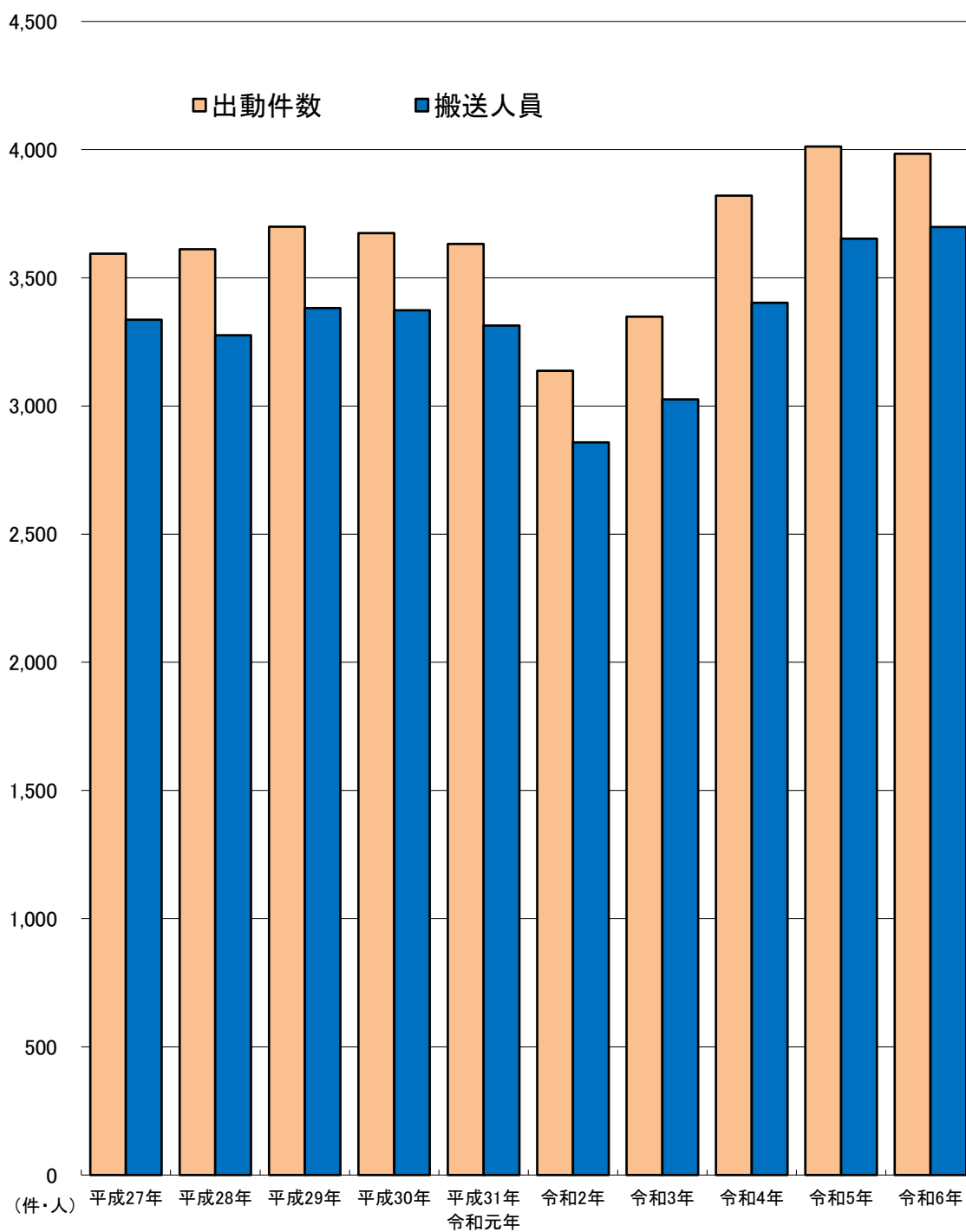
傷病程度		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡	男性			1	1			1		1	45		49
	女性			1				1			49	1	52
	計			2	1			2		1	94	1	101
重 症	男性	1			20	5		58		4	251	30	369
	女性	1			7	3		111		1	236	21	380
	計	2			27	8		169		5	487	51	749
中 等 症	男性	1			24	7	1	55	1		388	41	518
	女性	3			20	3		73		7	356	55	517
	計	4			44	10	1	128	1	7	744	96	1,035
軽 症	男性	2			138	31	14	160	4	4	623	6	982
	女性				96	4	7	144	5	6	562	7	831
	計	2			234	35	21	304	9	10	1,185	13	1,813
そ の 他	男性												
	女性												
	計												
合 計	男性	4		1	183	43	15	274	5	9	1,307	77	1,918
	女性	4		1	123	10	7	329	5	14	1,203	84	1,780
	合計	8		2	306	53	22	603	10	23	2,510	161	3,698

傷病程度別年齢区分搬送人員

(令和6年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合計
死 亡				7	94	101
重 症	7	3	3	95	641	749
中 等 症	3	24	13	210	785	1,035
軽 症		79	94	604	1,036	1,813
そ の 他						
合 計	10	106	110	916	2,556	3,698

過去10年間における救急出動の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出動件数	3,594	3,611	3,699	3,674	3,632	3,137	3,348	3,820	4,012	3,984
搬送人員	3,336	3,276	3,382	3,373	3,314	2,858	3,026	3,403	3,653	3,698

救急講習実施状況

	市民救命士養成講座		応急手当普及員(人)
	開催回数	市民救命士(人)	
平成 15 年 度	46	825	
平成 16 年 度	51	619	
平成 17 年 度	62	923	52
平成 18 年 度	81	1,135	
平成 19 年 度	78	1,029	27
平成 20 年 度	69	1,065	
平成 21 年 度	73	1,311	
平成 22 年 度	84	1,241	55
平成 23 年 度	82	1,387	44
平成 24 年 度	116	1,249	28
平成 25 年 度	96	2,001	98
平成 26 年 度	107	2,100	62
平成 27 年 度	140	2,825	45
平成 28 年 度	151	3,243	46
平成 29 年 度	136	2,636	23
平成 30 年 度	111	2,179	43
平成 31 年 度 令和 元 年 度	97	1,133	
令和 2 年 度	41	542	
令和 3 年 度	66	894	
令和 4 年 度	126	1,616	34
令和 5 年 度	86	1,187	27
令和 6 年 度	97	1,559	16
合 計	1,996	32,699	600

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(令和6年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況			
	火 災	交通事故	水 難	風 水 害 等	自然災害	機械 事 故 による	建物 事 故 による	ガス 事 故 及び酸欠	破裂事故	その他の 事 故	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	3						1			1	5	18	4	1
2 月	1	3	1				1			2	8	34	5	4
3 月	4	4					1			1	10	45	8	4
4 月	1	1					1			3	6	20	3	2
5 月	1	4					3	1			9	28	4	3
6 月	1	3					1				5	17	3	3
7 月	2	4	1				1				8	30	4	2
8 月	2	2					3			2	9	30	5	3
9 月	1	2				1					4	13	2	1
10 月		3					2			1	6	16	3	4
11 月		2					7			3	12	29	4	4
12 月	1	3					5			1	10	30	5	5
合 計	17	31	2			1	26	1		14	92	310	50	36

2 救助活動状況（前年との比較）

年 別	出 救 動 助 件 員 数 数	事 故 種 別									合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 水 災害 害 等	機 事 械 事 による 故	建 事 物 事 による 故	ガ 事 ス 及 び 酸 欠 故	破 裂 事 故	そ 事 の 他 の 故	
令和 6 年	出動件数（件）	17	31	2		1	26	1		14	92
	救助人員（人）		18	2		1	7			8	36
令和 5 年	出動件数（件）	22	17				1			5	45
	救助人員（人）	2	8				1			4	15
前 年 比	出動件数（件）	△5	14	2		1	25	1		9	47
	救助人員（人）	△2	10	2		1	6			4	21

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(令和6年度)

項別防火対象物			防火管理者選任義務対象物（法第8条）				消防用設備等設置対象物（法第17条）			
			消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計
1	イ	劇場等	1	1	1	3	7	1	1	9
	ロ	集会所等	25	15	20	60	34	21	22	77
2	イ	キャバレー等	1			1	2			2
	ロ	遊技場等	3		1	4	3	1	1	5
	ハ	性風俗店等								
	ニ	カラオケボックス等	1	1		2	1	1		2
3	イ	待合・料理店	4			4	4			4
	ロ	飲食店	71	10	14	95	114	24	38	176
4		百貨店等	69	22	30	121	102	32	49	183
5	イ	旅館等	11	1	10	22	23	9	12	44
	ロ	共同住宅等	33	22		55	736	390	73	1,199
6	イ	病院等	6		2	8	34	9	12	55
	ロ	福祉施設等	14	16	5	35	20	41	6	67
	ハ	口以外	23	12	10	45	55	35	21	111
	ニ	幼稚園等	3	2		5	3	6		9
7		学校等	14	11	6	31	91	55	22	168
8		図書館等	4	1	2	7	6	2	4	12
9	イ	蒸気浴場等						2	1	3
	ロ	一般浴場		1	1	2	1	1		2
10		車両停車場							1	1
11		神社等	19	14	17	50	31	26	37	94
12	イ	工場等	6	37	2	45	130	324	117	571
	ロ	スタジオ								
13	イ	車庫等					79	24	20	123
	ロ	格納庫								
14		倉庫		4	1	5	190	259	140	589
15		前各項以外	68	34	29	131	312	294	215	821
16	イ	特定複合用途	117	35	14	166	231	63	35	329
	ロ	イ以外	15	2	3	20	126	34	31	191
17		文化財			2	2	17	7	5	29
18		アーケード								
合 計			508	241	170	919	2,352	1,661	863	4,876

建築同意事務 指導別件数

(令和6年度)

		新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模様替え	用途変更	その他	合 計
管内申請 件 数	指 導 あ り	46	28	1				1		76
	指 導 な し	31	4							35
	合 計	77	32	1				1		111

建築同意事務業態別棟別件数

(令和6年度)

項		防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模様替え	用途変更	その他	合 計
1	イ	劇 場 等									
	ロ	集 会 所 等	1								1
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊 技 場 等									
	ハ	性 風 俗 店 等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待 合 ・ 料 理 店									
	ロ	飲 食 店	2								2
4		百 貨 店 等	2								2
5	イ	旅 館 等									
	ロ	共 同 住 宅 等	28	3							31
6	イ	病 院 等		1							1
	ロ	福 祉 施 設 等									
	ハ	ロ 以 外		3							3
	ニ	幼 稚 園 等									
7		学 校 等		1							1
8		図 書 館 等									
9	イ	蒸 気 浴 場 等									
	ロ	一 般 浴 場									
10		車 両 停 車 場									
11		神 社 等	1								1
12	イ	工 場 等	3	14							17
	ロ	ス タ ジ オ									
13	イ	車 庫 等									
	ロ	格 納 庫									
14		倉 庫	2	3							5
15		前 各 項 以 外	8	3	1						12
16	イ	特 定 複 合 用 途	2	2					1		5
	ロ	イ 以 外	3								3
17		文 化 財									
18		ア ー ケ ード									
専 用 住 宅 等			25	2							27
合 計			77	32	1				1		111

消防用設備等検査状況

(令和6年度)

消防用設備等		着工届出書 (累計)	設置届出書 (累計)	完成検査 (累計)
消火設備	消火器		68	66
	屋内消火栓設備	6	7	7
	スプリンクラー設備（水道連結型含む）		1	1
	水噴霧消火設備			
	泡消火設備			
	不活性ガス消火設備			
	ハロゲン化物消火設備			
	粉末消火設備	1	1	1
	屋外消火栓設備	6	8	7
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	75	120	108
	ガス漏れ火災警報設備			
	漏電火災警報器			1
	消防機関へ通報する火災報知設備	4	6	6
	非常警報器具・設備（ベル、サイレン）	10	14	14
	非常警報（放送）設備	8	11	10
避難設備	避難器具	6	7	7
	誘導灯	52	136	125
	誘導標識		44	43
消防用水		4	2	2
消火活動上 必要な施設	排煙設備	1	1	
	連結散水設備			
	連結送水管		1	1
	非常コンセント設備			
	無線通信補助設備			
必要とされる 防火安全性能 を有する設備	パッケージ型消火設備	2	3	3
	パッケージ型自動消火設備	1	1	1
	特定小規模施設用自動火災報知設備	2	2	2
	その他			
合 計		178	433	405

危険物施設の状況

(令和6年度)

			製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計	
				屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売		一 般
許 可 施 設 数			21	77	80	4	53		41	6	54	3	58	397
数 量 別 数	5 倍以下			31	3	2	17		39	1	4		27	124
	5 倍を越え 10 倍 以下		3	23	10	1	14			3	5		14	73
	10倍を越え 50 倍 以下		5	13	26	1	17			2	17	3	14	98
	50倍を越え 100 倍 以下		5	2	16		2		1		5		1	32
	100 倍を越え 150 倍 以下		2	6	5		1		1		8			23
	150 倍を越え 200 倍 以下			1	8		2				4		1	16
	200 倍を越え 1,000 倍 以下		4	1	12						11		1	29
	1,000 倍を越えるもの		2											2
種 別	単 独	第 1 類												
		第 2 類												
		第 3 類												
		第 4 類	19	71	80	4	53		41	6	54	2	58	388
		第 5 類												
		第 6 類												
	混 在		2	6								1		9

危険物申請の状況

(令和6年度)

		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
許 可	設 置	1	1	2				1			1		6
	変 更	18	1	5		1				5		18	48
完 成	設 置	1	2	4				1			1	1	10
	変 更	19	1	1		1			1	6		20	49
廃 止		1	2	7		3		1				1	15

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の件数

(令和6年度)

製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			仮 貯 蔵	仮 取 扱	合 計
	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般			
12	1	1		1				5		15	2	3	40

手数料徴収状況

(令和6年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
11	16	189	210	1,525	971	33		2,955

(単位：千円)

火災予防条例等各種届出件数

(令和6年度)

届出種別	消防署	東分署	北分署	合計
防火対象物使用開始届出書	31	40	12	83
炉設置届出書	1	17	3	21
厨房設備設置届出書				
温風暖房機設置届出書		2		2
ボイラー設置届出書	2	3	1	6
給湯湯沸設備設置届出書	2	3	4	9
乾燥設備設置届出書		2	1	3
サウナ設備設置届出書				
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書				
火花を生ずる設備設置届出書				
放電加工機設置届出書				
燃料電池発電機設置届出書				
発電設備設置届出書		2	5	7
変電設備設置届出書	6	21	3	30
急速充電設備設置届出書		1		1
蓄電池設備設置届出書	2	5	3	10
ネオン管灯設備設置届出書				
水素ガスを充填する気球の設置届出書				
少量危険物貯蔵取扱届出書	2	40	7	49
指定可燃物貯蔵取扱届出書	1	3	3	7
少量危険物等タンク検査申請書				
喫煙等の承認申請書	4		1	5
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書	33	19	8	60
椅子席固定免除又は客席避難通路特例適用申請書	38			38
露店等の開設届出書	77	70	51	198
火災予防上必要な業務に関する計画書				
防火管理者選任（解任）届出書	83	69	28	180
消防計画作成（変更）届出書	93	91	28	212
消防訓練通知書	285	191	78	554
防火対象物点検結果報告書	35	12	16	63
消防用設備等点検結果報告書	530	301	220	1,051
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	4	20	3	27
防火管理に関する講習課程修了証明申請書	10			10
少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	5	4	3	12
指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書				
煙火打上げ仕掛け届出書	5	4	8	17
催物開催届出書	3	1		4
指定洞道等届出書				
その他の届出	30	17	5	52
合計	1,282	938	491	2,711

立入検査実施状況

(令和6年度)

種別	実施数
指定文化財立入検査	24
防火対象物立入検査	229
危険物施設立入検査	47

防火指導状況

(令和6年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	7月1日～2月18日	796軒
	高齢者大学 防火研修会	実施なし	
自治会等	安心安全講座	随時	計22回 944人
防火対象物	消防訓練指導	随時	112回
	乙種防火管理講習（新規）	実施なし	
	甲種防火管理講習（新規）	7月4日/5日、11月6日/7日	2回 80人
	甲種防火管理講習（再講習）	実施なし	隔年で綾部市と交互に実施
その他	消防署見学	随時	3,348人
	起震車体験会	11月11日～11月22日	30園 783人

(令和6年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	初級6月2日/16日	合計70人
		中級6月16日	合計28人

広報活動状況

(令和6年度)

広報活動内容	回数
1 巡回広報	70
2 街頭広報	2
3 有線利用による広報	10
4 報道機関への情報提供	6
5 固定放送設備による広報	10
6 ホームページによる広報	103

幼年消防クラブ活動状況

(令和6年度)

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	26	2,797
幼 稚 園	4	383
そ の 他	5	117

実施事業

(令和6年度)

実施事業	内 容
幼年消防クラブ総会	令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画（案）
幼年消防クラブ指導者研修会	防火指導に関する研修、救急講習
巡回防火教室	防火の話、消防車と記念撮影
起震車体験会	起震車による地震体験、煙体験、防火ビデオ上映

福知山市防災センター来館者状況

(令和6年度)

合計	防災センター	防災広場のみ
8,067人	7,128人	939人

【通信】

覚知別集計

(令和6年中)

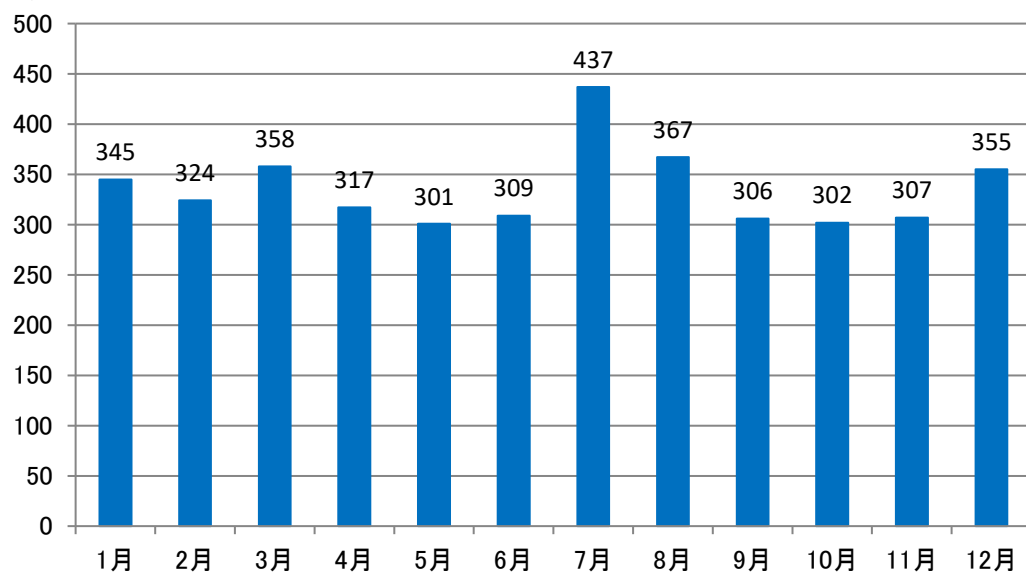
	災 害 区 分	件 数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話 (ペンダント)	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火 災	建 物	21	3	14	2	2					
	車 両	4		2	2						
	林 野	1		1							
	そ の 他	18	1	14	2	1					
	小 計	44	4	31	6	3					
救 急	火 災										
	自 然 災 害										
	水 難										
	交 通	233	6	199	8	6			4		10
	労 働 災 害	49	4	31	11	2		1			
	運 動 競 技	22		18	2	1					1
	一 般 負 傷	602	104	333	140	16	4	1	2		2
	加 害 損 害	10	1	7		2					
	自 損 傷	35	4	22	5	3					1
	急 病	2,646	462	1,424	685	44	8	4	1		18
	転 院 搬 送	163	24	8	25	103					3
	医 師 搬 送	4		2							2
	資 材 搬 送										
	そ の 他	42	3	10	3	9					17
	小 計	3,806	608	2,054	879	186	12	6	7		54
救 助	火 災										
	交 通 事 故	31	1	19	3	7					1
	水 難 事 故	2		1	1						
	自 然 災 害										
	機 械 事 故	1		1							
	建 物 事 故	25	1	14	2	4	2				2
	ガ ス ・ 酸 欠	1		1							
	そ の 他	15	1	11	1	2					
	小 計	75	3	47	7	13	2				3
警 戒	自 火 報 発 報	14	7	7							
	怪 煙 調 査	9		6	1	2					
	油 漏 れ	9		7					1		1
	ガ ス 漏 れ										
	自 然 災 害										
	異 臭 調 査										
	そ の 他	34	4	19	1	5	3				2
	小 計	66	11	39	2	7	3		1		3
調 査	自 火 報 発 報	13	1	9		3					
	油 漏 れ	6		4		2					
	た き 火	8	1	4		3					
	自 然 災 害										
	事 後 聞 知	6	1		1	2			2		
	捜 索										
	そ の 他	4	1	2		1					
	小 計	37	4	19	1	11			2		
そ 他	問 い 合 わ せ	190	28	112	27	1	1				21
	応 答 な し	51	2	14			1				34
	い た ず ら	30	11	14	1		1				3
	119 試 験	506	235	93	16			14			148
	通 報 訓 練	473	128	68	200		1				76
	重 複	199	23	126	39						11
	ま ち が い	383	49	268	40						26
	取 り 消 し	59	7	18	9						25
	そ の 他	663	44	78	15	1					525
	小 計	2,554	527	791	347	2	4	14			869
合 計			6,582	1,157	2,981	1,242	222	21	20	10	929

月別指令状況

(令和6年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	4	3	10	3	4	6	4	3	3	2		2	44
救 急	335	308	339	300	282	294	408	347	292	277	288	336	3,806
救 助	2	7	6	5	8	4	6	7	3	6	12	9	75
警 戒	1	4	1	7	6	3	10	5	5	13	5	6	66
調 査	3	2	2	2	1	2	9	5	3	4	2	2	37
合 計	345	324	358	317	301	309	437	367	306	302	307	355	4,028

(件) 月別指令件数



ドクターヘリ要請件数

(令和6年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数				4	1	3	2		1		2	1	14

【消防団】

消防団の沿革

(令和 7 年 4 月 1 日)

○昭和 22 年 11 月 1 日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6 分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉） 団員 697 名、ポンプ車 6 台、手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和 23 年 8 月 12 日	団長 石坪一久 就任
○昭和 24 年 4 月 1 日	3 村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により 9 分団となり、消防団員条例定員 1,000 人、実員 1,123 人となる。 ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる
〃 10 月 1 日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団員条例定員 1,000 人、実員 1,053 人
○昭和 30 年 4 月 1 日	8 村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員条例定員及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる
〃 4 月 6 日	団長 足立秀夫 就任
〃 9 月 30 日	上豊富分団が京都府知事表彰調査を受検し、12 月 22 日に表彰旗を授与された
○昭和 31 年 9 月 30 日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17 分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台、手引ポンプ 43 台、可搬ポンプ 23 台、腕用ポンプ 60 台
○昭和 33 年 3 月 7 日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7 月 1 日	団長 藤原定治 就任
○昭和 35 年 11 月 20 日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 37 年 1 月 6 日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4 月 8 日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和 38 年 4 月 1 日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和 40 年 10 月 1 日	消防団員条例定員 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和 42 年 4 月 1 日	団長 芦田太郎 就任
○昭和 44 年 4 月 1 日	【消防団の勢力】17 分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台、手引ポンプ 8 台、小型動力ポンプ 65 台
○昭和 45 年 7 月 3 日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始 西中分団、修斉分団、上六分団へ各 1 台配置
〃 10 月 5 日	下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 46 年 11 月 1 日	下川婦人消防隊結成、隊員 47 名
○昭和 48 年 4 月 1 日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 6 月 14 日 昭和 52 年 4 月 1 日	消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1） 団長 大槻増次 就任
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和 54 年 3 月 5 日 " 4 月 1 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀である という理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された 福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を 授与された
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日 表彰旗が授与された
○昭和 60 年 5 月 30 日 " 8 月 8 日 " 10 月 6 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員 制度を設ける 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置 消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド
	人 員 消防職員 85 名 消防団員 1,348 名 婦人消防隊 40 名 車 両 ポンプ車 10 台 積載車 36 台 小型動力ポンプ 34 台
○昭和 61 年 3 月 5 日 " 5 月 1 日 " 9 月 28 日	消防庁長官より表彰旗が授与された 団長 吉竹 孝一郎 就任 雀部分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日 表彰旗が授与された
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日 に表彰旗が授与された
○昭和 63 年 10 月 13 日 ~19 日 " 10 月 26 日 " 10 月 30 日	京都国体警備。内福知山市分 16~19 日 金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場 大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日 に表彰旗が授与された
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 2 年 5 月 1 日 " 10 月 21 日	団長 関 宏躬 就任 修齊分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 3 年 4 月 1 日 " 10 月 13 日	消防団員条例定員 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された

○平成 4 年 8 月 31 日 " 11 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第 6 位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 5 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 5 年 10 月 31 日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 6 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 6 年 5 月 1 日 " 8 月 30 日 " 10 月 30 日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 7 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 7 年 11 月 12 日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 8 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 8 年 7 月 1 日 " 7 月 25 日 " 10 月 13 日	消防団員アルミックス防火衣を 129 着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 9 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 9 年 9 月 1 日 " 10 月 12 日	消防団員アルミックス防火衣を 185 着分支給 市制 60 周年（団発足 50 周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10 年 8 月 7 日 " 12 月 10 日 ~21 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11 年 7 月 1 日 " 9 月 9 日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12 年 5 月 1 日 " 8 月 6 日 " 11 月 23 日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第 5 位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13 年 10 月 1 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊 17 人、福知山消防ファイヤーガード隊 13 人で発足
○平成 14 年 1 月 24 日 " 5 月 1 日 " 8 月 4 日 " 10 月 27 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」が京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成 15 年 2 月 2 日に表彰旗が授与された
○平成 15 年 11 月 20 日	自治体消防 55 周年記念大会参加
○平成 16 年 5 月 1 日 " 8 月 1 日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18 年 1 月 1 日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
	【消防団の勢力】

	団 長 岸田正一 団本部ほか 29 分団、定員 2,160 人、実員 2,065 人 消防ポンプ自動車 12 台 小型動力ポンプ付積載車 11 台 小型動力ポンプ付軽積載車 77 台 小型動力ポンプ 89 台
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日	団長 足立秀幸 就任
〃 7 月 27 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日	団長 山田浩和 就任
〃 7 月 1 日	三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置
〃 8 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
〃 9 月 18 日	総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定
〃 5 月 1 日	消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す
〃 8 月 5 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足
〃 10 月 20 日	細見分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
〃 11 月 25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された
〃 2 月 15 日	総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
〃 3 月 4 日	総務省消防庁より消防団拠点資材等セト一式の無償貸与を受ける
〃 4 月 1 日	団長 塩見辰也 就任
〃 8 月 3 日	三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日	消防団簡易デジタル無線運用開始
〃 11 月 25 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日	団長 片岡幸基 就任
〃 7 月 31 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 12 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 29 年 10 月 21 日	ふくちやまファイヤーエンジェル스가、京都府知事から京都府あけぼの賞を授与された
〃 12 月 5 日	公益財団法人日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受ける

○平成 30 年 2 月 8 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃 4 月 1 日	団長 池澤 徹 就任
〃 7 月 29 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 18 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 31 年 2 月 13 日	平成 30 年 7 月豪雨時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃 3 月 5 日	公益財団法人日本消防協会優良消防団表彰「特別表彰まとい」を受賞
令和元年 9 月 20 日	平成 30 年 7 月豪雨時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○令和 2 年 4 月 1 日	消防団員条例定員 1,780 人、実員 1,652 人となる
〃 5 月 24 日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
〃 10 月 1 日	雲原分団に機能別消防団員が発足
○令和 3 年 1 月 10 日	活動服を更新、全団員に貸与
〃 6 月 6 日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
○令和 4 年 4 月 1 日	団長 小谷 晴昌 就任
〃 8 月 28 日	条例改正により、消防団員の年額報酬を改定し、出勤報酬を創設 京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場し、第 6 位の成績を収める
○令和 5 年 1 月 8 日	高視認性レインウェアを配備、全団員に貸与
〃 3 月 29 日	条例改正により、消防団員の任命条件を一部改正 「本市に居住し、在学し、又は勤務する者。ただし、団長が特に必要があると認める者については、この限りでない」とする
〃 4 月 1 日	全分団機能別消防団員制度の要綱を作成 西中分団、下夜久野分団、河西分団及び河東分団で運用開始
○令和 6 年 4 月 1 日	新型防火衣、ヘルメット（しころ付き）を 508 着整備、全分団に配備し運用開始 三和ブロックの細見分団と川合分団が統合し、細見川合分団が発足、1 団 6 ブロック 28 分団体制となる 上夜久野分団、河守分団で機能別消防団員を運用開始
〃 5 月 1 日	中夜久野分団で機能別消防団員を運用開始
〃 7 月 1 日	河守上分団で機能別消防団員を運用開始
〃 8 月 25 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場し、第 6 位の成績を収める

消防団員・消防団車両配置表

(令和7年4月1日)

		人 員											車 両 等			
ブ ロ ッ ク	分 団 名	合 計	団 長	※副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	指 導 部 長	本 部 班 長	部 長	班 長	団 員	ポン プ 車	積 載 車	軽 積 載 車	そ の 他 の 車 両
団本部		7	1	6												1
ファイヤー エンジェルス	ファイヤーガード隊	5								1	1	3				
	カラーガード隊	9								1		8				
中 部	中 央	74		(1)	1	1	1	1	2	6	12	50		6		
	大 正	37			1	1	1	1	1	2	4	26		2		
	庵 我	67			1	1	1	1	1	3	7	52		3		
	修 齊	82			1	1	1	1	1	4	10	63		4		
	上 豊	93			1	1	1	1	1	2	6	80		3		
東 部	雀 部	40		(1)	1	1	1	1	1	3	3	29		3		
	西 中	68			1	1	1	1	1	5	5	53		4	1	
	内機能別団員	1										1				
	上 六	43			1	1	1	1	1	2	4	32		2		
	中 六	38			1	1	1	1	1	2	4	27		2		
	下 六	52			1	1	1	1	1	4	4	39		4		
	佐 賀	32			1	1	1	1	1	2	4	21		2		
北 部	下 川	34		(1)	1	1	1	1	1	2	4	23		1	1	
	上 川	41			1	1	1	1	1	2	6	28		2	1	
	金 谷	41			1	1	1	1	1	2	6	28		2		
	三 岳	39			1	1	1	1	1	2	4	28		1	1	
	内機能別団員	12										12				
	金 山	48			1	1	1	1	1	2	3	38			2	
	内機能別団員	20										20				
	雲 原	45			1	1	1	1	1	2	2	36		2		
三 和	内機能別団員	20		(1)								20				
	菟 原	55			1	1	1	1	1	3	3	44		3		
	細 見 川 合	74			1	1	1	1	1	5	6	58		6		
	内機能別団員	5										5				
夜 久 野	三和支所消防隊	8		(1)								8		1		
	上 夜 久 野	71			1	1	1	1	1	4	9	53	1	2	1	
	内機能別団員	17										17				
	中 夜 久 野	43			1	1	1	1	1	2	4	32		2		
	内機能別団員	8										8				
	下 夜 久 野	35			1	1	1	1	1	3	6	21		3		
	内機能別団員	2										2				
大 江	夜久野支所消防隊	15		(1)								15				
	河 守	63			1	1	1	1	1	4	7	47		2	2	
	内機能別団員	2										2				
	河 守 上	41			1	1	1	1	1	2	3	31		2		
	内機能別団員	4										4				
	河 西	35			1	1	1	1	1	2	4	24		1	1	
	内機能別団員	3										3				
	河 東	37			1	1	1	1	1	2	6	24		1	1	
	内機能別団員	2										2				
	有 路 上	46			1	1	1	1	1	2	4	35		1	1	
合計	有 路 下	31		(1)	1	1	1	1	1	2	4	20		1	1	
	大江支所消防隊	5										5			1	
合計		1,454	1	6	28	28	28	28	29	80	145	1,081	1	68	14	1

※ 団本部の副団長は各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(令和7年4月1日)

年齢別	合 計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,454	46.47	1	50	276	597	425	105

在職年数別消防団員数

(令和7年4月1日)

年数別	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上15 年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,454	170	205	233	291	252	183	120

【水 防】

水防の概要

第1 福知山市域を流れる河川

福知山市域を流れる河川で、国、京都府及び福知山市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

(令和7年4月1日現在)			
国が管轄するもの（1級河川）	2河川	旧夜久野	78河川
京都府が管轄するもの（1級河川）	49河川	旧大江	64河川
福知山市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川	旧三和	91河川
延	430河川	旧福知山	146河川
		延	379河川

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都、滋賀および福井の府県境三国岳に源を発し、南丹市、京丹波町および綾部市の山間部、福知山盆地を経て日本海に注ぐ河川で、高屋川、上林川、土師川などと合流し、その流域面積は京都府と兵庫県にまたがり、1,880 km²におよびます。由良川水系の治水と利用についての意義は、丹波地域においてきわめて大きくなっています。

第3 現状の課題と方針

福知山市では、平成25年台風第18号災害、平成26年8月豪雨災害、平成29年台風第21号災害、平成30年7月豪雨災害、令和5年台風第7号災害など、10年間で5度もの大規模な災害が発生していますが、近年の大雨は地球温暖化による気象変動の影響とも言われ、局地的で集中し、強い降雨により災害の規模が大きく、被害がより深刻になることが懸念されます。

平成26年の8月豪雨災害以降、「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップの作成（福知山市）を完了するとともに、排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、ポンプ場のポンプ増強や調整池及びため池の改良（福知山市）など、国・府・市が一体となって総合的な内水対策が実施され、令和3年度には福知山市域における「由良川緊急治水対策」（国土交通省）が完成しました。

内水氾濫対策は継続して実施されていきますが、今後の課題としては、地区（自治体）ごとの災害リスク（内水氾濫、土砂災害等）に応じた対策が、ハード面（危機管理型水位計や水位センサーの設置）及びソフト面（マイマップやマイタイムラインの作成）共に重要となっています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの堤防破堤や溢流による外水氾濫と、内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地の標高は非常に低く、由良川と牧川の合流点付近では標高12mに過ぎません。したがって、由良川などの堤防が決壊した場合には、市街地全域にわたる浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害および建物被害などが生じる危険性が高く、さらに水位が低下するまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道などです。このような地形では、雨水が集まりやすく水害の危険性は高くなります。

第5 近年の水害の記録

平成16年の台風23号では、総雨量279mm由良川水位も最高水位7m55cmを記録、さらに平成25年の台風18号では、総雨量216mm、由良川最高水位8m30cmを記録、由良川流域の広範囲において浸水し、家屋、耕地および主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

平成26年8月豪雨では、福知山市で24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達し、由良川では一時的に氾濫危険水位を超過しました。また、内水氾濫により市街地を中心に広い範囲で冠水し、約4,500戸が浸水するとともに、土砂災害も多く発生しました。福知山市は、市の全域約8万人に避難勧告を発表し、陸上自衛隊も救援に出動しました。さらにこの大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響が非常に大きなものとなりました。

平成29年の台風21号では、総雨量200mm由良川水位も最高水位7m39cmを記録、道路の冠水により由良川流域の一部地域が一時的に孤立するなど、甚大な被害が生じました。

平成30年7月豪雨では、大雨特別警報が発表され、7月5日から7日にかけて広範囲に降雨があり、総雨量は439mm、由良川水位は氾濫危険水位を超え6.52mを記録し、平成26年の8月豪雨と同じく、都市の排水機能を超過した内水氾濫により広範囲の市街地に浸水被害をもたらした。林地保水力の限界を超えた山では、多くの土砂災害が発生しました。

令和5年の台風7号では、24時間雨量が370mmを超え、14日夜遅くから15日未明にかけた短時間（5時間）で273mmの雨量を記録しました。記録的な短時間豪雨の影響により、由良川水位上昇の前に山間部で土砂崩れや土石流が発生し、土砂が河川に流入して河川が閉鎖され、中小河川が氾濫しました。多くの土砂災害や道路の崩落が発生し、激甚災害に指定されました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	死傷者 200 名
	倒壊流失家屋 371 戸	
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋 350 戸

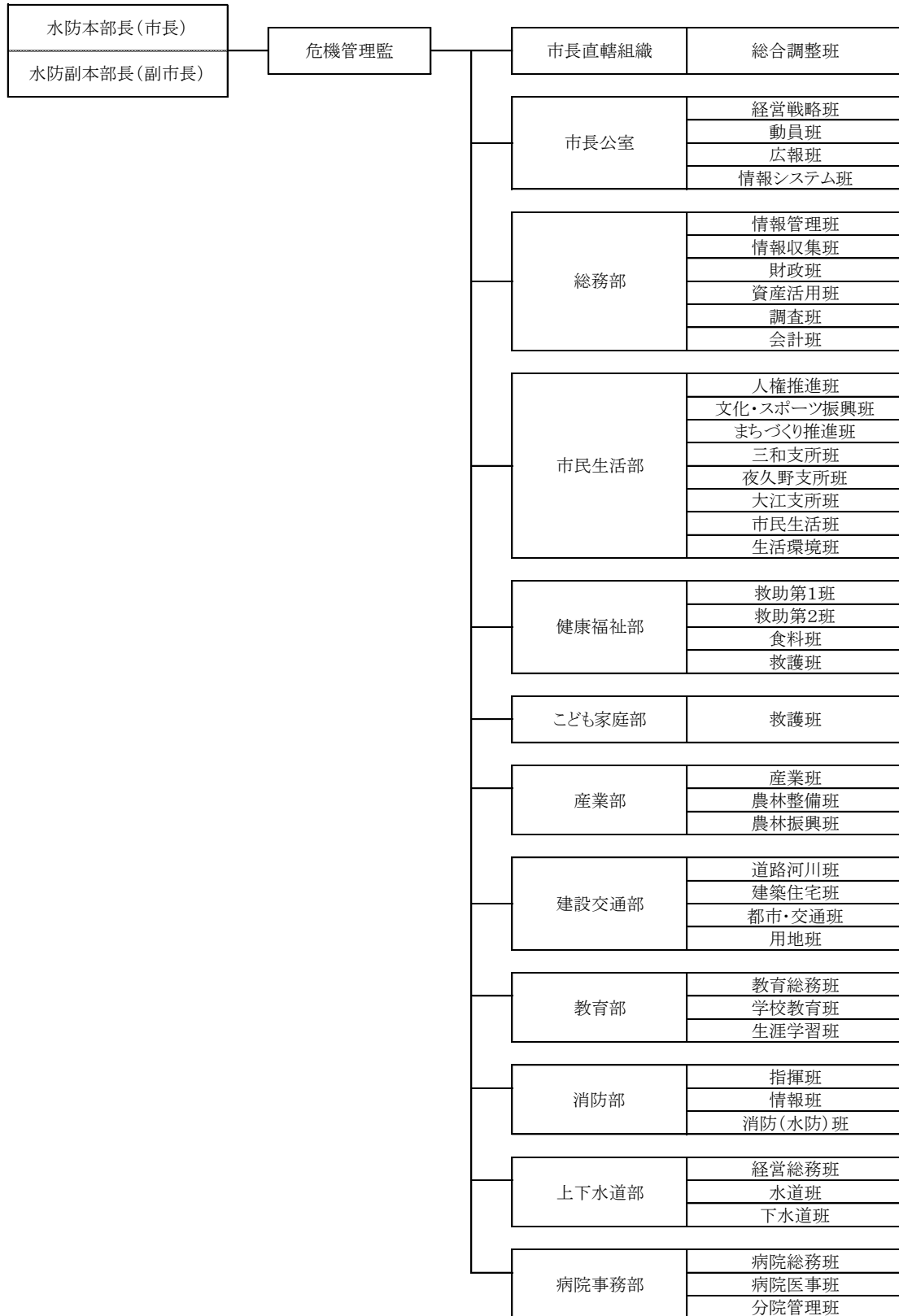
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m 死傷者 7 名 倒壊流失家屋 67 戸 浸水家屋 3,058 戸
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m 倒壊流失家屋 30 戸 浸水家屋 3,006 戸
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 死傷者 5 名 総雨量 95.0mm 倒壊流失家屋 111 戸 浸水家屋 5,083 戸
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 死傷者 792 名 総雨量 254.3mm 倒壊流失家屋 1,664 戸 浸水家屋 3,836 戸
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 負傷者 26 名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113 戸 浸水家屋 5,117 戸
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9 名 倒壊家屋 76 戸 浸水家屋 19 戸
平成 16 年 10 月 20 日 ～21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 63 戸 浸水家屋 844 戸
平成 25 年 9 月 16 日 (台風 18 号)	水 位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊) 332 戸 浸水家屋 423 戸
平成 26 年 8 月 16 日 ～17 日 (8 月豪雨)	水 位 6.48m 総雨量 335.5mm 倒壊家屋 (全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253 戸 浸水家屋 4,500 戸 死者 1 名 負傷者 1 名
平成 29 年 10 月 21 日 ～23 日 (台風 21 号)	水 位 7.39m 総雨量 200.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部破損) 23 戸 浸水家屋 325 戸
平成 30 年 7 月 5 日 ～7 日 (7 月豪雨)	6 日 22:50 大雨特別警報発表 水 位 6.52m 総雨量 439.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊) 54 戸 浸水家屋 1,161 戸 負傷者 1 名 【雨量記録】 ■日最大 1 時間降水量 7 日 午前 1 時 00 分 60.0mm ■日降水量 7 日 199.0mm 歴代 2 位を記録 (統計開始 1976 年) ■日最大 10 分間降水量 7 日 23.0mm 歴代 3 位を記録 (統計開始 1976 年)
令和 5 年 8 月 14 日～15 日 (台風 7 号)	水 位 1.08m 総雨量 376.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊、準半壊) 18 戸 浸水家屋 (床上、床下) 101 戸

水防組織

第１ 水防本部の組織

- １ 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- ２ 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班および情報班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。
- ３ 指揮班の任務
 - （１）災害情報の収集・活動状況の総括
 - （２）防災・水防信号の発令及び広報の指示
 - （３）消防団の非常招集及び活動の指示
 - （４）緊急消防援助隊等の消防広域応援の指示
- ４ 情報班の任務
 - （１）災害情報の収集・活動状況の把握
 - （２）所管システムによる災害情報の伝達
 - （３）消防団の非常招集及び活動の調整
 - （４）緊急消防援助隊等の消防広域応援の調整
 - （５）部内の連絡調整
- ５ 消防（水防）班の任務
 - （１）災害情報の収集・活動状況の把握
 - （２）防災・水防信号の発令及び広報の実施
 - （３）消防隊等の編成及び出動に関すること
 - （４）災害の場合における消防団の活動調整及び指示
 - （５）災害警戒の広報、避難情報の伝達
 - （６）避難者の誘導、避難所運営の支援
 - （７）人命救助並びに身体及び財産の保護
 - （８）遺体及び不明者の搜索
 - （９）消防関係通信の運用及び確保
 - （１０）消防機材・水防資材点検整備
 - （１１）消防関係施設の点検整備

〔水防本部組織図〕 (令和7年4月1日)





@FUKUCHIYAMA_CITY

福知山市



@FUKUCHIYAMA_CITY_FIRE_FIGHTER

福知山市
消防本部



@FUKUCHIYAMA_CITY_FIRE_GUARD

福知山市消防団
ファイヤーガード隊



@FUKUCHIYAMA_CITY_COLOR_GUARD

福知山市消防団
カラーガード隊

令和6年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町 46 番地の1
福知山市消防本部

TEL 0773 - 24 - 0119

FAX 0773 - 22 - 5458

URL <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/syoubou/>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp